

第六十三回帝國議會
衆議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和七年八月三十日(火曜日)午前十時三十分分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事胎中楠右衛門君 理事宮澤 裕君

理事兼田 秀雄君 理事清家吉次郎君

理事武知 勇記君

河野 一郎君 出井 兵吉君

八田 宗吉君 尾崎 天風君

西田 銳吉君 倉元 要一君

渡邊幸太郎君 長田 桃藏君

若宮 貞夫君 寺田 市正君

三善 信房君 松山常次郎君

高田 耘平君 山田 助作君

小川郷太郎君 池田 秀雄君

佐藤 與一君 原 淳一郎君

小池 仁郎君 深水 清君

同日委員比佐昌平君及原吉郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ武知勇記君及佐藤與一君ヲ議

長ニ於テ選定セリ

同日理事原吉郎君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ武知勇記君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 子爵 齋藤 實君

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林參事官 松村 謙三君

農林省米穀部長 長瀬 貞一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

米穀應急施設法案(政府提出)

米穀法中改正法律案(秦豐助君外二十三

名提出)

米專賣法案(胎中楠右衛門君外一名提出)

米專賣特別會計法案(胎中楠右衛門君外

一名提出)

植民地米統制法案(胎中楠右衛門君外一名提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマ

ス、大體本日ヲ以テ此質問ハ終了ト告ゲタ

イト考ヘテ居リマス、ソレデ只今迄ノ質問

ハ關聯ハ致シテ居リマスガ、宣告シタ時分

ニハ、米穀需給調節特別會計法中改正法律

案、ソレカラ米穀應急施設法案、米穀法中

改正法律案、此三案ヲ一括シテ審議ヲ進メ

テ居ル次第デアリマスルガ、尙ホ本委員會

ニ付託サレタモノハ米專賣法案、米專賣特

別會計法案、植民地米統制法案、此三案ガ

マダ審査ヲ了シテ居ラナイノデアリマスル

ガ、本日ハ是モ併セテ審査ヲ致スコトニ致

シマス、ドウカ其積リデ質問應答ヲ重ネラ

レンコトヲ希望致シマス

○河野委員 議事進行デ少シ發言ガアリマ

ス、今回政府カラ提案ニナッテ居ル案ト、政

友會カラ提出シテ居リマス法案ト、其他色

色ノ法案ガ審議サレテ居ルノデアリマス

ガ、此前率勢米價ガ衆議院並貴族院ニ提案

付託議案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)
米穀應急施設法案(政府提出)
米穀法中改正法律案(秦豐助君外二十三名提出)
米專賣法案(胎中楠右衛門君外一名提出)
米專賣特別會計法案(胎中楠右衛門君外一名提出)
植民地米統制法案(胎中楠右衛門君外一名提出)

見マスルト、其日數ヲ要スルコト、七日カ
八日、既ニ十日ニ垂ントスル日數ヲ要シ、
總理大臣ヲ始メトシテ各大臣ガ出席シテ、
農林大臣ノ如キハ、時間カラ申シマシテモ
數十時間ニ互ッテ、此委員會ニ於テ質疑應答
チャッテ居ルノデアリマス、所ガ今回吾々ガ
率勢米價ハ時勢ニ適シナイト云フコトデ、
廢止ヲ要求シテ居ル場合ニ農林大臣ハ此委
員會ニ僅ニ數時間ヨリ出席セヌノデアリマ
ス、吾々トシテハ十分ナル質疑ヲ重ネルコ
トガ出來ヌノデアリマス、ソコデ本日ヲ以
テ只今委員長ノ御話ノヤウニ質疑ヲ大體終
了シヨウト云フ御意見ナラバ、ソレニ私ハ
決シテ反對致シマセスガ、少クトモ農林大
臣ガモウ少シ眞面目ニ此委員會ニ出席シ
テ、今政治上カラ見テモ、個人ノ經濟上カ
ラ見マシテモ、最モ重點ヲ成シテ居ル所ノ
率勢米價ノ問題ニ付テ、十分ナル審議ノ出
來ルヤウナ機會ヲ與ヘラレルヤウニ、委員
長ニ於テ御取計ヲ願ヒタイト思ヒマス、本

日ハ若シ農林大臣ガ他ノ委員會ノ都合ガアレバ、今晚十二時迄デモ、何時迄デモ時間ヲ取ツテ、此委員會ヲ繼續シテ、ドウシテモ四五時間ノ農林大臣ノ出席ヲ求メナケレバ、吾々ノ質疑ハ終了セヌト考ヘテ居リマス、其點一ツ委員長ニ御取計願ヒタイト思ヒマス

○若宮委員 只今座談ノ際ニモ申述ベマシタ通り、政府ニ於テモ吾々同僚ニ於テモ熱心ニ審議シテ居ルト云フコトハ、専ラ此時局匡救ヲ誤リナカラシメタイ、農村ノ救済ニ萬遺漏ナキヲ期シタイ、斯ウ云フ趣意ニ外ナラヌコトデアル、隨テ銘々ガ唯、所信ヲ披瀝シテ審議ヲシテ行クト云フコトハ、固ヨリ當然デアリマスガ、是ト同時ニ此目的ヲ貫徹スルガ爲ニ、虚心坦懷ソレム、最も宜シトスル所ノ案ヲ採擇致シ、サウシテ出來ル限り完全ナル農村救済ノ方策ヲ樹テ行ク、斯ウ云フコトヲ目標ニセネバナラスト信ジテ居ルノデアリマス、固ヨリ本委員會開會ノ當初カラシテ、同僚諸君ガ極メテ御熱心ナル質疑應答ヲ、政府並ニ同僚間ニ於テ重ネテ居ル光景ハ、洵ニ私満足ヲ以テ拜聴致シテ居リマス、唯、以上申シタ大目的ニ適ハシムルト云フコトノ爲ニ、銘々が固執スルコトハ勿論ナイコト、ハ信ジマ

スケレドモ、サウ云フヤウナコトノ世ノ議ヲ受ケナイヤウニ、極メテ虚心坦懷ニ可ヲ可トシ、是ヲ是トシテ、審議ヲ進メラレタイ、是ハ私ハ國家國民ノ爲ニ切望ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、私共ガ提案ヲ致シテ居リマス米穀法中改正法律案ノ重點、此率勢米價ニ關スル規定削除ノ點、之ニ付テ私自身モ提案者ノ一人トシテ、同僚カラ御質疑モ受ケテ、ソレニ對シテ相當ナ答辯モ致シテ居リマス、遺憾ニ感ジマシタノハ形式ニ關スルコトノ論ノミデアル、實質ニ關シテ、率勢米價ヲ存スルノガ宜シイノカ、之ヲ削除スルノガ宜シイノカ、又其中間ニ何等カノ方途アリヤ否ヤト云フ、此肝腎ナ農村ノ利害ニ直接ノ關係アル點ニ觸レテ御質疑ヲ受ケ能ハザリシト云フコトハ、私ハ深刻遺憾ニ感ジテ居ルノデアリマス、又政府ノ御答辯ニ致シテ見マシテモ、同僚カラノ質問ニ對シテ率勢米價ヲ削除シナイデモ、ドウニカ間ニ合フデアラウト云フ意味ノ御答辯ハ、繰返シアッタカノヤウニ記憶致シマス、是ハハッキリシタコトハ速記録ヲ見テ申上ゲマスガ、私ハサウ云フコトヨリハ一步ヲ進メテ、率勢米價ヲ若シ存置シテ置カナケレバナラヌト云フ茲ニ的確ナ理由ガアルナラバ、ソレヲ率直ニ御示シニナッタ

方ガ問題ノ解決ヲ速カナラシムル上ニ便宜デハナカラウカト、私共ハ毎日繰返シテ申シテ居ルノデアリマシテ、率勢米價ハ農村ノ救済ニ役ニ立タヌ、是ハ實驗上明カデアッテ、又理論上ニ於テモ明カデアリ、本年ノ所ヲ見テ行キマス、政府言明ノ如ク二十二月十日デナケレバ出來ナイ、其生産費ヲ加味シテソレデ宜シイト言ハレル、其基礎ニ間違ガアリハセヌカト云フ、此數字ト事實ヲ掲ゲテ、吾々同志ノ側カラハ質問ヲ致シテ居ルノデアリマス、ドウゾ願クバ斯ル種類ノ質問、誠實ノ質問ニ對シテハ、效能ガアルナラアル、是ガ必要ナラ必要ダト十分ニ御説明アランコトヲ切望ニ堪ヘナイノデアリマス、ソレカラ昨日私ハ質問ヲ致シテ政府ノ答辯ヲ留保サレテ居ル分ガアリマス、ソレハ只今デナクテモ宜シウゴザイマス、適當ノ機會ニ御答辯ニナレバ宜シウゴザイマス

○宮澤委員 昨日中途ニシテ質問ヲ打切ッタノデアリマスガ、實ハ私ハモウ同僚カラ連日ニ互ッテ、理論闘争ハ盡サレテ居ル、併シサウ深遠ナ議論ハ私ハシナイ、直覺的ニ農林大臣ノ御所見ヲ拜聴致シタイ、斯ウ云フ非常時内閣ノ閣僚トシテ、殊ニ農村救済ヲ眼目ト致シテ居リマス農林大臣ノ後藤サントサレテハ、國家民人ノ爲ニ容易ナラヌ御苦心ヲ拂ッテ居ラレルト思ヒマス、是ハ感謝致シテ居リマス、茲ニ行ハレマス議論ハ、無論農林大臣對吾々委員トシテノ應答ニハ違ヒゴザイマセヌ、場所モ無論、是ハ委員會デアリマスガ、形式ハサウト致シマシテモ、私ハ今日ハ本當ニ實質的ニ於テハ、私ノ畏敬スル先輩後藤文夫氏ニ後輩宮澤裕、更ニ突込デ言フナラバ、人間宮澤裕ガ、人間後藤文夫氏ニ對スルト云フ感ジテ持ツノデアリマス、端的ニ申シマスルガ、今日ノ米價ヲ此率勢米價ニ依ッテ、算定セラレマシタル米價ヲ以テ農村ノ者ガ生活出來ルデアリマセウカ、農村ガ果シテ救ヘルデアリマセウカ、唯是ダケノ御答辯デ宜シウゴザイマス、私ハ農村ノ窮狀ガ救ヘルカト云フコトニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、今日マデニモ、單リ是ハ唯今日ノミデアリマセヌ、從來不合理ナル此經濟界ニ壓迫サレテ居ル農村ト云フモノハ、連年ノ疲弊困憊ノ上ニ加フルニ此不況ニ際會シテ、働ケバ働クダケ食フコトガ出來ナイ、其理由ハ何デアルカ、極メテ明瞭デアアル、此事ハ私ガ申上ゲルマデモアリマセヌ、農林大臣モ夙ニ御承知ダラウト思ヒマスガ、今日ノ農産物、殊ニ米價デハ農村ノ生活ハ出來マセ

ヌ、ソレナ一ツ御答辯願ヒタイ

○後藤國務大臣 只今宮澤君カラ熱誠ヲ籠

メテノ御質問デアリマス、私モ衷心ヲ披瀝

シテ御答申上ゲマス、今日ノ農村ヲ有ユ

ル方面カラ匡救シナグレバナラヌト云フコ

トハ全然申スマデモナク御同感デアリマシ

テ、ソレガ爲ニ全幅ノ努力ヲ拂ッテ今日マデ

參ッテ居ルノデアリマス、就テハ米價ノ問題

ニ付キマシテモ尠カラズ苦慮ヲ拂ッテ參ッテ

居リマス、今日ノ率勢米價ノ下値ト云フモ

ノデ米價ハ宜シイカ、ソレデ農村ガ行立ッ

カト云フ御質問ガ昨日來モゴザイマシタ、

吾々ハ米價ガ此率勢米價ノ下値マデ下ガル

コトヲ決シテ希望シテ居リマセヌ

尙米穀法ノ運用ノ基準ト致シマシテハ生

產費ヲ加ヘテ考ヘタイト云フコトヲ昨日來

申シテ居ルノデアリマス、併ナガラ米價ノ問

題ハ中々サウ簡單ニ參リマセヌ、今日四百

萬石ノ米ヲ政府ガ既ニ持ッテ居リマス、此上

ニ何百萬石買ウタラバソレデ米價ヲ上ゲル

コトガ必ズ出來ル、併シ非常ニ多量ノ米ヲ

政府ガ持ッコトニナッテ、其米ノ始末ヲ他日

スルノダト云フ脅威ヲ持ッコトニナリマス

ト、ドウ云フ變化ガ米價ニ來ルカ分リマセ

ヌ、是ハ寧ロ當局ノ者ガ米穀ノ需給ノ狀況

ヲ考ヘナガラ、適切ナ餘力ヲ持ッ、適切

ナル發動ヲシテ居ルト云フコトデ、却テ安

定ガ行クノデアリマス、ソレガ爲ニ朝鮮米

ノ問題、或ハ米ノ貯藏ノ問題ト云フヤウナ

概括的ノ調査デモ加ヘテ、サウシテ米價ヲ

睨ミマシテ、或標準ヲ茲ニ置イテ、サウシ

テ輕々シクハ動カヌガ、動ク時ニハ動ケル

ノダト云フコトニシテ置クコトガ却テ米價

ノ安定ガ期シ得ラレルノデアルト思ッテ居

リマス、私ハ宮澤君ト全ク同一ノ理由ト、

同一ノ信念トヲ以テ是マデモ申上ゲテ居ル

コトヲ此席デ常ニ申シテ居ル譯デアリマ

ス

○宮澤委員 私ト同ジャウナ理由ト信念ヲ

持ッテ居ラレルコトハ能ク存ジテ居リマス、

併シ遺憾ナガラ私共ト御考ガモウ少シ違フ

ト思フノデアリマス、今日ヤハリ米價ヲ維

持スル、調節スルト仰シヤイマスルコトハ、

從來カラノ米價ヲ標準ニシ、殊ニ米價ノ調

節ト云フコトハ、消費者側ト云フコトヲ重

大ナルコト、シテ念頭ニ置イテ居ルヤウニ

考ヘテ居ルト思ヒマス、無論消費者ヲ考慮

ノ中ニ置カナイ譯ニ參リマセヌ、先程來申

上ゲマシタヤウニ、今日ノ米價ト云フモノ

ハ極メテ不合理ナル價格デアル、生産費以

下ニナッテ居ル、農村ハ搾取サレテ居ル、其

狀態ガ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、恐

ラク他ノ經營家ハ千百ヲ數フルト雖モ、斯

ノ如ク生産費ヲ割ッテ事業ガ成立ツモノデ

アリマセヌ、農業ト云フモノハ生産デアリ

マス、生産ハ成立ツモノデアリマセヌ、又斯

ノ如ク壓迫干涉ヲ加ヘテ米價ノ抑壓ヲシテ

居ルモノハ、他ニ一モナイト云フコトハ、

農林大臣御承知ノ通り、私モ深く信ジテ居

ルノデアリマス

是ガ從來、封建時代カラ明治ノ初年ノ時

代ハ、然ラバ農家ハ何デ維持シテ居タカト

言ヘバ、ソレハ自給自足デアル、私ガ申ス

マデモナク、農村ハ自給自足デ衣食住、自

分デ生活ヲスル、是ハ御承知ノ通り食ハウ

トスレバ、雜穀、米穀ハ固ヨリデアリマス、

野菜モ作ル、味噌、醬油、煙草、酒、皆自

分デ作ッテ自分デ之ヲ補ッテ行ッタモノデア

リマス、ダカラ何モ是等ヲ買取ッテ自分ノ

生活ニ當テルト云フコトハシナカッタ、又衣

ニ致シマシテモ木綿ハ自分デ綿ヲ紡イデ著

物ヲ著ルノデアリマスカラ、木綿モ所謂一

般カラ買ッテ居ルノデハアリマセヌ、ソレガ

即チ農家ノ衣デアリマス、足袋ニ致シマシ

テモ、下駄ニ致シマシテモ、帽子ニ致シマ

シテモ、自分ノ手製ノ物ヲ被ル、或ハ帽子

ノ無い者ハ頼被リヲシテ居ルト云フヤウナ

次第デ、所謂衣ト云フモノ、需要ハ補ヒッ

ツアッタノデアリマス、又住ニ致シマシテ

モ、當時ノ農村ガ家ヲ造ルノニハ、其材木

ヲ共有林カラ松ノ木ヲ五本、三本伐ッテ來

テ、茅ヲ葺ク、器用ナ者ハ左官モヤレバ、

大工モシテ、殆ド家ヲ造ルコトニ致シマシ

テモ大抵ノ工事ハ一切合財皆自分デヤッテ

居ッタノデアリマス、然ルニ今日ハドウデア

リマセウカ、之ヲ食ノ方面カラ申シマシテ

モ米穀ヤ野菜ハ作ルニ致シマシテモ、醬油

ヤ酒ナドハ――醬油ハ此間解禁サレマシタ

ガ、酒ハ依然自家釀造ハ致シマセヌ、煙草

ニ致シマシテモ、自分ハ作リマスクレドモ

自家用デ、他人ニ之ヲ供給スルコトハ出來

マセヌ、其他ノ總テノ種類一切合財日用品

ト云フモノハ悉ク都會ノ製造工場カラ皆需

要スルノデアリマス、著物ニ致シマシテモ

其ノ通り、綿布ニ致シマシテモ、或ハ銘仙

ニ致シマシテモ一切合財、帽子下駄其他ノ

日用雜品、殊ニ其通り、ソレカラ住宅ニ致

シマシテモ今日ハドウ云フ山村ニ參リマシ

テモ、公有林ハ整理統一サレテ、樫一本モ

伐ル譯ニ參リマセヌ、昔ハ自分達ノ村ノ山

ニ木ガアリマシタナラバ、其木ヲ伐ッテヤリ

マシタクレドモ、今日ハ山林局ガ出來テ是

ガナイノデアリマスカラ、何處ノ農村ノ田

舎ニ行ッテ見マシテモ、米材ヲ買ッテ家ヲ造ッ

昭和七年八月三十日

テ居ルノデアリマス、私ハ紀伊國熊野ノ神

社ニ参リマシテ、社務室ニ立派ナ木ガ使ッテ

アルノヲ見テ、紀伊ノ木カト思ヒノ外、サ

ウデハナイ、米材ヲ使ッテ居ル、斯ノ如クニ

農村ニ於テモ、今日衣食住共ニ如何ナル田

舎ニ於キマシテモ左様ナ生活ヲ強要サレテ

居ル、是ハ所謂經濟分業ト申シマスルカ、

分業ノ發達、所謂經濟機構、財政機構ノ今

日ノ現象トシテ已ムヲ得ヌノデアリマス、

然ラバ是等ノ日用品ハ何ニ依ッテ得ルカ、自

分ノ生産シタル物ヲ賣ッタ其金ニ依ッテ買ウ

テ居ルノデアリマス、即チ買ッテ此需要ヲ充

タスヨリ方法ガ付カヌノデアリマス、サウ

シテ自家デ生産致シマスル諸生産品、米穀

始メ其他ノ農産品ガ悉ク生産費以下デ處理

サレテ居ル、サウシテ他ノ物ハ相當利潤ヲ

加ヘラレタモノヲ買取ラシメラレル、間ニ

介シタモノハ損ガ行クノハ當然ノコトデ

アリマス、此不合理ノ經濟生活、此經濟狀

態ニ壓迫サレテ居ル吾等同胞ト云フモノハ

過半数アルト云フコトヲ此處ニ申上グテ置

キマス

然ルニ單ニ率勢米價、吾々ノ此生活標準

デアルトカ、率勢米價デアルトカ云フモノ

ヲ標準ニシテ、此價格ヲ唯机上ノ空論ニ依ッ

テ米價ヲ定メテ、此擇取狀態ヲ繼續スルト

云フコトハ、蓋シ爲政家ノ大責任デアルト

考ヘナケレバナラス、況ヤ農村ハ今極度ノ

疲弊ニ立ッテ居ル、齋藤内閣ハ此時局匡救ノ

爲ニ出來タ内閣デアル、而モ此内閣ノ最モ

重要ナル農林大臣ノ要職ニ御就キニナッテ

居ル閣下デアル、普通ノ事務ノヤウニ考ヘ

テハ間違デアル、單ナル官僚根性ト申シマ

スカ、率勢米價ヲ何處マデモ固執シ、主張ス

ルヤウナ行懸リニ因ハレテハイケンナイ、私

ノ豫テ尊敬シテ居ル後藤サンデアリマス、

殊ニアナタハ元々黨人デハナイ、唯今日時

局匡救ノ農林大臣トシテ國家人民ノ爲ニ盡

スト云フ外何物モオアリニナラス答デア

ル、然ルニ斯ノ如キ悲慘ナル狀態ヲ繰返シ

ツ、アル農村ヲ何ト御覽ニナル、而モ公課

負擔ハドウカ、恐ラク公課負擔ハ地租、ソ

レニ對スル附加税、是等ハ一錢一厘モ輕減

ガアリマセヌ、都會ノ商工業ニ從事シテ居

ル者ハ營業税、營業收益税、其他所得狀態

ニ應ジテ幾分改善サレテ居リマスガ、農村

ハ一畝一段ノ田地ト雖モ之ニ對スル公課負

擔ハ減ジテ居ナイ、斯ノ如キ農村ニ對シテ、

而モ農産物ハ生産費以下デ搾取サレル、副

業ガアルト言ヘバアルデアリマセウ、或ハ

養鶏、養蠶モアリマセウ、或ハ林産モアリマ

セウガ、其副業ニ要スル直接生産費以外ニ

何ノ得ル所ガアリマセウ、大體ニ於テ農業

ト、養蠶ト、養鶏、其他畜産、林産等ヲ兼

行ッテ居ル者ガ一箇年ノ純收入四百圓、五反

百姓六人生活ノ標準デアル、其次ガ三百圓、

二百圓ノ者モアル、而モ其中税金ハ大抵三

割、四百圓ノ者ハ三割引イテ二百八十圓、

是デ六人暮スコトニナルト一人一年五十

圓、一箇月四圓、一日ニシマスト十何錢ニ

過ギナイ、更ニ是ガ三百圓ニナルト三割ノ

税ヲ拂ッテ残り二百十圓、二百圓ノ者ハ百四

十圓ト云フコトニナル(「簡單々々」ト呼フ

者アリ)斯ウ云フ可哀相ナ經濟生活ニ呻吟

シテ居ル農村ヲドウシテ御救済ナサルカ、

私ハ妙チ行懸リニ因レテ、率勢米價ナドヲ

固持シテ、生産費ガ十二月ニ出來ルノヲ待ッ

テ按排シ救済スルト云フ、時局ハソレ程緩

慢デナイ、將ニ眼前ニ迫ッテ居ル、是ガ救ハ

レルコトニ依ッテ農村ガ生キル、農村ガ生キ

ルナラバ、ヤハリ農村アッテノ都會デアルカ

ラ、都會モ救済サレル、都會ノ消費者ノ爲ニ

モ此農村ヲ憐シダナラバ、進シデ米ヲ吊上

グルコトヲ要スルノデアリマス、其意味ニ

テ政府ハ一層茲ニ御考慮ヲ願ヒタイ、私ハ

單的ニ申シマス、農村救済ハ何ニ依ッテ米價

ヲ吊上グルカ、農村ニハ米價ノ標準ハナイ、

政府ガ御示シニナリマシタ生産費ガマダ

調査ハ十分デナイト仰シヤイマシテモ、二

十圓ト幾ラニナッテ居ル、少クトモ米ノ價格

ト云フモノハ此二十圓十一錢ガ正確ナル數

字トハ申シマセヌガ、是ガ生産費デアルト

云フナラバ、少クトモ米價ハ是ガ最低値デ

ナケレバナラス、是レ以下ニナッタラ政府ガ

買ッテ維持スル、私カラ言ハセマスレバ此生

産費ノ上ニ二割位利益ヲ加ヘタモノガ標準

ニナルベキデアル、ソレ以下ニ下ル場合ハ

政府ガ買上ゲテ調節スル、餘リ上リ過ギタ

時ハ政府ハ色々ナ方法デ制限スレバ宜シ

イ、法令ヲ適用シテ防グ方法モアラウ、兎

ニ角一定ノ利益ヲ農村ニ供給スルコトガ、

今日農村對策ノ唯一無二ノ方法ナリト私ハ

信ズル、他ノ末節ニ付テハ既ニ同僚諸君カ

ラ盡サレテ居ルカラ、私ハ是ダケノコトヲ

申上ゲテ、後藤農林大臣、人間後藤文夫氏

ニ對シテ本當ニ農村ノ爲ニ御考慮願ヒタ

イ、私ノ此所論ニ對シテ果シテドウ云フ御

考デアリマスカ、モウ一遍伺ッテ見タイト

思フ

○後藤國務大臣 宮澤君ノ熱烈ナル御論議

ヲ重ネテ拜聴致シマシタ、私モ其前提トサ

レル農村ノ匡救ト云フコトニ付テハ全然御

同感デアリマス、唯其方法ガ率勢米價ノコ

トヲ何トカスル、是ガ唯一無二ノモノダ、

ソレダケデヤルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、之ニ付テ重要ナ御意見ヲ御持チニナッテ居ルコトハ能ク諒承致シマシタ、私共モ農村ノ匡救ヲ眞ニ考ヘタイガ故ニ農村ノ匡救ハ唯一個ノ方法ノミデハイカヌ、當面ノ急務、根本ノ問題、種々之ヲ併セ行フコトニ依ッテ實行サレナクレバナラスト思フ、米ニ付テモ心配シナクレバナラスコトハ十分考ヘル、ソレ故ニ米ノコトニ付テハ可ナリ苦慮シタ案ヲ持ッテ御協賛ヲ願ッテ居ル譯デアリマス、唯率勢米價等ノ問題ニナリマスレバ、昨日來申シマシヤウニ、吾々ハ決シテ行懸リナドニ拘泥致シマセヌ、官澤サハ御話ノヤウニ、私ハ過去ノ色々ナ政治關係ニ引掛リヲ有ッテ居リマセヌ、又事務的ニモ過去ノ農林省ニ關係ヲ有ッテ居リマセヌ、私ハ行懸リヲ全然超越シテ、現在ノ實情ニ即シタイ考デアルコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス、其上デ見マス、此全體ノ關係カラ生産費ト云フモノヲ調べ、之ヲ加味シテ米穀法ノ運用ヲ以テ基準ト致スコトガ宜シイ、併シソレノミデナク、他ノ調査ヲモ加ヘテ米穀ノ市價ト云フモノニ適當ナル調節ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○胎中委員 根本對策ニ付テ總理大臣ノ御

出席ヲ求メタイト思ヒマス、聞ク所ニ依レバ豫算總會ニ於キマシテモ、同様ノ質問ニ對シテ言明サレタト云フ話モ聞イテ居リマスガ、此委員會ト致シマシテモ、是非總理大臣カラ米穀ニ對スル根本對策ノ御意見ヲ伺ヒタイ、之ヲ委員長ヨリ當局ニ御要求願ヒタイ、但シ委員長ガ最初ニ申サレタ通り、出來ルナラバ今日中ニ質疑ヲ終リタイト云フ御意見デアリマスカラ、出來ル限リ速ニ御出席ニナルヤウニ希望致シマス

ソレカラ私ハ極ク簡單ニ一、二大臣ニ御伺致シタイ、私ガ御伺シマス事柄ハ餘リ平凡デアリマシテ、分り切ッテ居ルデヤナイカト云フ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、併シ……

○東委員長 一寸アナタノ今ノ最初ノ議事進行ハ動議デスカ

○胎中委員 議事進行デナイノデス

○東委員長 イヤ總理大臣デセウ、私モ總理大臣ノ出席ハ非常ニ必要ガアルト思ヒマス、本委員會トシテ、豫算委員會等ニモ、根本政策ヲ近ク樹立スルト云フコトヲ、或ル種ノ機會ニ言ウテ居ルヤウデスカ、本委員會ニ於テ總理大臣ノ意思ヲ確メテ置クコトハ極メテ必要ナコトデアリマスカラ、適當ナル機會ニ總理大臣ノ出席ヲ要求スル

コトニ致シマス、只今ノ胎中君ノ御要求ニ對シマシテハ政府ニ通ジマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○胎中委員 極メテ分り切ッタヤウナコトデアリマスカラ、御叱リナク一ツ御答ヲ願ヒマス、例ヘバ今ノ法律案ニ致シマシテモ今期議會ニ其法律ガ決定サレル、サウシテソレヲ實施サレマシタ時ニ、或ハ其法律ニ缺陷ガアルトカ、若クハソレヨリハモット良イ方法ガアルトカ云フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、次ノ議會ニ其法律ヲ變更シテモ差支ナイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○後藤國務大臣 ソレハ左様デゴザイマス

○胎中委員 私ハ米穀法ノ法文ニ現ハレテ居リマス運用ノ目的ガ、數量竝ニ市價ノ調節デアルト云フコトハ承知シテ居リマス、併ナガラ此事柄ニハ眞ノ精神ト云フモノガナケレバナラス、其精神ヲ私ニ言ハシムレバ、消費者ニモ迷惑ヲ掛ケヌヤウニ、又生産者ニモ迷惑ヲ掛ケヌヤウニスル、要スルニ米ヲ足ラナイ所ニ配給シテヤレバソレデ宜シイ、或ル程度ノ値段ヲ決メテ置ケバソレデ宜シイ、其結果消費者ニ不利益デアラウトモ、生産者ニ不利益デアラウトモ、

ソレハ構ハスト云フ意味デナク、消費者、生産者ノ利益ヲ保護スルト云フ精神ガ此法文ニ織込マレテ居ルモノデアルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○後藤國務大臣 左様デアルト思ヒマス、唯附加ヘテ申上ゲタイノハ、米穀法竝ニ米穀資金デ出來上ッテ居リマス今ノ米穀制度ハ、其精神ハ持ッテ居リマスクレドモ、實ハ中々サウハ參ラナイ、ソレヲ成ベク希望シテ、ソレニ近附ケヤウト云フコトカラ此法案ガ出來テ居ルノデアリマス

○胎中委員 ドウカ惡ク取ラヌヤウニ願ヒマス、其働キガ目的ヲ達シ得ルカ否カト云フコトハ今御尋シテ居ルノデアリマセヌ、詰リ米穀法ノ數量竝ニ米價ノ調節ト云フ其法文ノ精神ガ、以上申上ゲタ通り消費、生産ノ兩方面ノ利益ヲ圖ラウ、斯ウ云フ精神カラ出來テ居ルモノト思ヒマス、ソレダケ伺ヘバ宜シイ

○後藤國務大臣 大體左様デゴザイマス

○胎中委員 ソレデ先程モ委員長カラ御話ノアリマシタ通り、成ベク此質疑應答ヲ早く済シテ、本日中ニモ委員會ハ質問ノ終結ヲ見タイト云フ御意思デアリマス、成ベク私ハ色々ナコトハ避ケタイト思フ、色々ナ質問ヲ避ケルト致シマスレバ、ドウシテ

モ今マデ質疑應答シタ中カラ得タ所ノ事實ヲ基調トシテ立テナケレバナラス、今マデ質疑應答致シタ結果ト致シマシテ、今ノ率勢米價ニ依ル米穀法ノ運用ニハ大ナル缺點ノアルト云フコトハ、是ハ議論デナイ、事實證明サレテ居ルコト、思フ、無論色々ナ箇條ニ於テアリマスガ、私ハ二點ヲ指摘シタイト思フ、先ヅ第一ニ率勢米價ノ下値ニ割ト云フモノガ、無論是ハ當局ノ方デハ未ダ正確ナル調査トハ言ハレヌデアリマセウガ、少クとも昨年十二月ニ御調べニナツタ生産費ヲ割テ居ルト云フコトハ御認めメナルト思ヒマスガ、如何デセウカ

○後藤國務大臣 左様デゴザイマス

○胎中委員 是ハ當時大臣ガ御出ニナリマセヌ時ニ、事務的ニ米穀部長カラ伺ッタノデアリマス、米穀法ガ昨年ノ議會デ改正セラレテ、所謂率勢米價ナルモノヲ取入レタ、ソレガ實施サレタ、其實施サレタ跡ヲ檢討シテ見ル中ニ、昨年ノ十一月ニ百萬石買上ゲタ當時、米穀事情ガドウナッテ居ルカト云フコトモ當局カラ伺ッタ所デアルガ、八月以降カラ非常ニ米ガ下ッテ來タ、サウシテ十八圓臺ヲ割リ、十七圓七十錢トナリ、十七圓三十錢ト云フコトニナツテ來タ、ソコデ政府ノ方デハ米ヲ一ツ買上ゲテアラウト云フコ

トデ御買上ニナツタ値段モ下値ニ割デアリマス、十八圓二十八錢ヲ割ッテ居ル、ソレヨリ安く買ヘル、暫クソレハ別ト致シマシテ、其當時百萬石買フ時ハ、團體其他優先權ヲ有ッテ居ル者カラ六割ヲ買上ゲタ、サウシテ一般カラ四割ヲ買ッテヤッタ、サウシマスト買上テ受ケタ者ハ、此買上ニ依ッテ或ル種ノ恩恵ヲ受ケテ居ル、併ナガラ其買上テ受ケザル他ノ多クノ米ノ所有者ト云フモノハ、此恩恵ニ浴シテ居ラス、故ニ米穀法ノ實施ニ依ッテ事實ハ多數ノ米ノ所有者ニ満足ヲ與ヘテ居ラスト云フコトハ、米穀部長モ認メラレタノデアリマスガ、大臣モ同様ニ御認めメニナルカ之ヲ伺ヒマス

○後藤國務大臣 昨午米ヲ買上ゲマシタコトニ付キマシテ私ハ詳シイコトハ存ジマセヌ、大體御話ニナツタヤウナ事柄デアッタト

思ヒマス、ソレデ直接ノ利益ヲ得マシタ者ハ、直接買上ゲテ貰ッタ者ニアッタダラウト思ヒマスガ、御承知ノ通りソレニ依ッテ米穀需給調節ヲ致ス譯デアリマスカラ、矢張間接ニハ利益ガ參ッテ居ル譯デアラウト考ヘマス

○胎中委員 御説ノ通りデアリマス、米ガ安くナツタカラ買上ゲテヤル、相當量買上ゲル爲ニ、其後米ノ値段ガ立直ラウ、立直シ

テヤリタイ、此趣意デ買上ゲラレタコトハ承知シテ居リマス、間接ニ或ル程度ノ利益ヲ受ケルト云フコトモ承知シテ居リマス、併ナガラ實質ニ於テ米ノ所有者ト云フモノハ決シテ少數デナイ、多數デアリマス、是ガ等シク米ガ安くテ困ッテ居ッタ、サウシテ其當時買上テ受ケタケレドモ、其買上テ受ケタ者ハ或ル程度ノ恩恵ハ受ケタガ、他ノ多數ノ所有者ハ恩恵ヲ受ケナカタ者モアル、斯ウ云フコトヲ米穀部長モ認メラレタノデアリマス、是ハ米穀部長ト打合セテモ宜シウゴザイマスガ、御返答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 其御質問デアレバ矢張其通りト思ヒマス

○胎中委員 永ク御聽キスルコトヲ避ケタイ爲ニ私ハ以上ノ質問ノ要點ニ於テ更ニ大臣ニ御伺シタイ、最初ニ御尋致シマシタ通り、假令法律ヲ今作ッテモ、其法律ニ不備ガアリ、其法律ガ圓滿ニ適用サレヌ場合ニハ、一年後ニ之ヲ改廢スルコトハ差支ナイ、サウシテ米穀法ノ成立ノ根本精神ガ消費者並ニ生産者ト云フ者ノ利益ヲ目的トスル、ソレデアリマスカラ、一定ノ値段ヲ拵ヘテ置イテ、其幅ノ中デ法律ノ命令スル所ニ依テノミ動ケバ宜シイト云フモノデナイ、矢張

兩方面ノ利益ヲ保護スルト云フ意味デ出來テ居ル、サウシテ率勢米價ニ依ル米穀法ノ昨年以來ノ運用ノ結果カラ見ルト云フト、私ハ多クハ論ジマセヌガ、是ハ同僚諸君ガ屢々他方面ヨリ伺ッタ事實ニ於テモ的確ナ事實トナッテ居ル、即チ率勢米價下値ニ割以下デハ生産費ヲ償ハヌト云フ事實ガ認メラレテ居リ、更ニ米穀法ノ運用ニ依ッテハ米ガ安タナツタ時分ニ買上ゲテ、米ノ所有者一般ノ恩恵ニ浴スルコトガ出來ヌト云フ事實ヲハッキリト認メラレタ以上ハ、私ハ大臣ニモサウ云フヤウナ窮窟ナ、サウシテソレガ利益ヲ齎サヌ所ノ法律ノ改廢ト云フコトニ必ズシモ御不同意ハナイト、斯ウ考ヘマスガ、如何デゴザイマセウ

○後藤國務大臣 然ラバ如何ニスルカト云フ御腹案ヲ御話ナク御尋ノヤウデアリマスガ、私ハ其根本ノ大方針ノ意見ニ付テハ全然御同感デアリマス、ソレデ只今ノ米穀法ノ運用法ニ依リマシテハ、買上テ受ケタ者ハ買上テ受ケナイ者ヨリモ現ニ直接ニ金ヲ拂ッテ買上ゲテ貰フノデ、直接ノ利益ヲ受ケル、他ノ者ハ間接ノ利益ヲ受ケルニ過ギナイ、或ル場合ニハ米穀法ノ力ヲ藉ラズシテ直接ニ利益ヲ受ケル場合モアル、是等ノ事ヲ申シタノデアリマス、此點ニ付キマシテ

ハ米穀制度ノ根本的ナ改正ヲスルノデナケ

レバ、今ノ米穀法ニ依ッテドウスルト云フ

譯ニ參ラナイノデアリマス、ソレカラ率勢

米價ノ下値ニ割ト云フノハ生産費ヲ割ッテ

居ルデハナイカ、此點ニ付キマシテハ率勢

米價ノ下値ニ割ガ生産費ヲ割ッタト云フ事

實ハ前御説明申上ダ通りデアリマス、併

ナガラ今ノ率勢米價ノ規定ヲ有ッテ居ル米

穀法ハ、下値ニ割ト云フノヲ一時ノ便法ト

シテ置イタノデアリマシテ、尙ホ生産費、

家計費ヲ加ヘテノ米價基準ヲ定メルノ餘地

ヲ殘シテ居ルノミナラズ、成ベク之ヲ速ニ

實行スルヤウニト云フ趣旨ニナッテ居リマ

ス、私ハソレヲ實行ヲシテ見ルコトニ依ッ

テ相當ナコトガ出來ル、今日ノ米穀法ノヤ

ウナ立前デハソレデ行クノデ宜シイダラ

ウ、更ニ根本的ニ米穀法ヲ變ヘテ行クト云

フ問題ニナリマスレバ自ラ別問題デ、是ハ

是非私ハ研究ヲシテ見タイト思ッテ居ルモ

ノデアリマス

○胎中委員 根本ノ米穀對策ヲ樹テルヤ否

ヤト云フコトハ今私ハ差控ヘマス、控ヘマ

スガ、是モモウ餘リ度々ニ渡リマスカラ、

出來ルダケ省略シテ言葉ヲ短クシテ申上デ

マスガ、本年ノ生産費ノ調ガ出來テト云フ

ノデハ此出來秋ニ殺到スル米ニハ間ニ合ハ

ヌト云フコトハ、是ハモウ明瞭ニナッテ居

ル、隨テ此米穀法中率勢米價ト云フ窮窟ナ

法規ガナイナラバ、殊ニ今日ノヤウナ此非

常ナ場合、有ユル方面ニ於テ政府御當局ハ

苦心ヲサレテ、色々農村救済ノ途ヲ樹テ、

居ル時ニ、セメテハ農家ノ米ノ生産費ヲ償

ヒ得ル程度ニ米ハ買ッテ然ルベシデア

ルト思フ、又此精神ニハ恐ラク御異議ハナ

カラウト思フ、併シ縱シ其心持ガアルニシ

テモ、今ノ率勢米價ニ依ル米穀法ニ於テハ

是ハ出來ナイト云フ、是モ事實デアリマス、

然ラバソレヲ無理ニ固執シテ率勢米價ト云

フ窮窟ナモノヲ置カナケレバナラヌト云フ

理由ガ何處ニアルカ、一ツ御説明ヲ願ヒタ

イノデス

○後藤國務大臣 ソレハ先程御話ノアリマ

シタコトデ、米穀法ノ精神ガ生産者竝ニ消

費者ニ安心ヲ與ヘタイ、之ヲ見合セテ適正

ナ米穀ノ値段ヲ維持シテ行キタイ、ソレヲ

維持スルノニ今ノ政府ノ力デ十分デアル

カ、ドウカハ別問題デアリマスガ、行キタ

イト云フノニハ生産者ニ安心ヲ與ヘルト同

時ニ、消費者ニ安心ヲ與ヘテ置カナケレバ

ナラナイト思ヒマス、ソコニ自ラ米價ノ基

準ト云フヤウナコトヲ考ヘテ行ク必要ガア

リマス、ソレガ兩方ニ安心ヲ與ヘテ行ク所

以デアルト思ヒマス、茲ニ米價ヲ引上ゲル

コトハ結構デアル、私ハ米價ノ上ゲルコト

ヲ希望シテ居リマス、希望ハシテ居リマス

ガ、政府ノ操作ニ依ッテ米價ヲ何處マデモ

引上ゲルノダト云フコトニナリマスレバ、

一方ニハ政府ノ操作ニ依テ米價ハ何處マデ

モ引下ゲテ賸ヒタイト云フ反面ノ要求ガ必

ズ起ルト思フノデアリマス、私ハソコヲ非

常ニ心配スルノデアリマス、ソコデ政府ガ

何等カノ基準ヲ以テヤッテ居ルンダト云フ

コトデアレバ、双方トモ安心致スト思ヒマ

ス、併シ其代リ双方トモ其爲ニ不満足ハア

リマセウ、是ハ已ムヲ得マセヌ、不満足ト

云フ感じハ持チマセウガ、併シ其以上ニ於

テハ是ハ政府ノ働キガ實際ノ場合ヲ見テ比

較的重點ヲ置クベキ方面ニ重點ヲ置イテ、

操作ヲシテ行クト云フコトニナレバ宜シイ

ノデアリマス、立前トシテハ双方ニ安心ヲ

與ヘテ行クト云フ立前ニナレバ宜シイト思

ヒマス

○胎中委員 議論ノ相違ニ互ルヤウナ點ハ

出來ルダケ避ケル積リデアリマス、議論ヲ

スル積リデハアリマセヌケレドモ、大臣ガ

仰シヤッタ通り獨リ生産者ノミデハナイ、消

費者ニモ安心ヲ與ヘテヤルト云フコトデス

カラ、何處カ基準ヲ拵ヘテト云フ御持論ニ

ハ私ハ敢テ反對ハ申シマセヌケレドモ、併

シ基準ヲ作ルコトガ善イカ惡イカト云フコ

トハ、是ハ大ナル問題デアリマス、只今仰

シヤルヤウニ消費者ト云フモノモ考ヘナケ

レバナラヌ、米ヲ矢鱈ニ高ク買ッテヤッタナ

ラバ、今度ハ消費者ガ反對ノ運動ヲ起スコ

トガアリハセヌカ、サウ云フコトハアリマ

セウ、併シ私共ノ言ッテ居ルノハ矢鱈ニ米ヲ

高ク買ッテヤレト云フコトハ申上ゲテ居ラ

ヌ積リデアリマス、少クトモ農家ガ安心シ

テ米ヲ作ル程度ノ値段ハ保タセテヤッタラ

宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトガ趣意ナノ

デス、此場合ニ於テ多少米ガ高クナリマシ

テモ、消費者ハ苦情ハ言ヒ得ルモノデナイ

ト私ハ確信シテ居リマス、生産費ヲ割ッテ

マデ農家ガ一般消費者ニ奉仕シナケレバナ

ラヌ理由ハ何處ニアリマス、是カラシテ私

共ハ大分意見ガ違ッテ居ル、是ニ於テ私共ガ

言フコトハ、消費者ノ利益ヲ考ヘヌト云フ

ノデハナイ、何時モ申上ゲル通り、此消費

満足デアッテモ我慢シナケレバナラヌト云フコトデスガ、獨リ何故ニ生産者デアル所ノ農民ノミガ現實ニ損ヲシテ居ルノヲ、之ヲ抛ッテ置イテモ宜イト云フ理由ガ何處ニアリマセウ、私ハ其説明ヲ一ツ伺ヒマセウ

○後藤國務大臣 農民ノミガ損ヲシテモ抛ッテ置イテ宜イトハ決シテ私ハ申上ゲマセヌ、生産費ヲ考ヘテノ基準價格ヲ樹テナケレバナラヌト申スノハソレガ爲ナノデアリマス、ソレ以上ノコトハ實際ノ狀況ニ應

ジテノ當局者ノ操作ニ御委カセ下サルコトガ適當デアラウト思フデアリマス

○胎中委員 當局者ノ裁量ニ委ス、私共ハサウ御願シタイ、今マデモサウ云フ風ニナッテ來タノデアル、ケレドモ、如何ニ當局者ノ裁量デアルニシテモ、今言フ率勢米價ト云フ大キナ痛ガアル限り、アナタノ手デ出來マスカ、出來マスマイ、出來ナケレバコソ未ダニ率勢米價ト云フモノニ縊ラレテ、サウシテ米價ガ昨年以來動イテ居ル、デアリマスカラ私が曩ニモ言フ通り、可哀相ダカラシテ農民ヲ救ッテヤラナケレバナラヌ、救ッテヤルノニハドウカ生産費ヲ償フダケノ米ノ値ヲ買ッテヤラナケレバナラナイト云フ御心持ガアッテモ、其米穀法デハソレヲサセナイ、サセナイ法律ヲ作ッテ、從ッテ

ソレガ農民ニ非常ニ不利益ダト云フコトガハッキリシテ居ルノニ、ソレヲ政府ニ御委セテ致シマシテ、果シテ政府ハ其目的ヲ達セラレマスカ、私ハ得ラレヌト思フ、是ハ無理ダ、デアリマスルカラ、アナタ方ノ手腕デヤリ得ル途ヲ開クト云フノハ、其痛ヲ取去ルコトガ私ハ唯一ノ手段デアルト思フ、是ガ私ノ主張デアリマス、是レ以上言ヒマスト、議論ノ相違ニナリマスルガ、其點ダケ一言……

○後藤國務大臣 私モ申シマス、ヤハリ議論ノ相違ニ相成ルデアリマセウカラ、私ハ端のニ御答申上ゲマスガ、生産費ヲ加ヘテ米價基準ヲ決メルト云フコトヲヤリマスレバ、大體ニ於テ御話ノヤウナ趣旨ニ合フノデアルト思フデアリマス、ソレ以上ノコトハ米穀法其モノ、買入、賣却ト云フ直接ノ運用デナクシテ、他ノ操作ニ依テ相當米價ノ安定ヲ圖ルコトヲヤリ得ル、ソレデ至當デアルト思フデアリマス

○胎中委員 實ハ質疑ヲ打切ラウト思ッタノデアリマスガ、今ノ御話デモウ一言聽カナケレバナラヌ、今ノ御話デ見ルト、確ニ率勢米價ニ依ル、米穀法デハ、私共ノ主張通り旨ク運用出來ヌト云フコトヲ御認メニナッテ居ル、デアルカラ、他ノ施設方法ニ依

テ行カウト云フ御趣旨ノヤウニ解シマスルガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○後藤國務大臣 少シ趣旨ガ違ッテ居リマス、米穀法ニ依ッテハ、先程モ申シタヤウニ生産者、消費者ニ安心ヲ與ヘテ置クト云フコトデ其爲ニ生産費ヲモ加味シタ下値ヲ考ヘテ置ケバソレデ適當ナノデアアル、其他ノ事情ニ付テハ他ノ操作ヲ以テヤルノデアアル、斯ウ申シタノデアリマス

○清家委員 是ハ私ハ昨年ノ米穀法委員會ニ於テ精細ニ議論ヲシタモノデアリマス、今ノ率勢米價ト云フモノ、性質ハ昨日松山君ガ審ニ御耳ニ入レタコトデアルカラ、繰返シマセヌガ、根本的ニ無理ト間違ガアル、最小自乘法ヲ以テ三十二年間ノ物價ニ修正ヲ加ヘテ、ソレヲ基トシテ居ラレルケレドモ、其數學ヲ適用スルコトガ既ニ間違ッテ居リマスルシ、生産費ヲ多ク割ル所ノ下値ヲ買ニ出ヨウト云ケコトニナリマスレバ、農民ガ立行キマセヌ、又上ル場合ニ於テモ上値ニ割ト制限シテ居リマスカラ、是モ十分ニ時ノ經濟事情ニ依テ引上ゲテ行クコトハ出來ナイ、進退兩方トモ妨ゲラレテ居ルコトニ相成ッテ居リマス、其處ニ於テ大臣ガ先日來屢、仰シヤル所ノ生産費ヲ顧慮シテ、無理ニ互ラヌ所ニヤリタイト仰シヤ

ル、既ニ生産費ヲ顧慮シナケレバナラヌト云フコトガ、今日ノ立法、即チ率勢米價ト云フモノデハ足りナイト云フコトヲ大臣ハ御認メニナッテ居リマス、嚴密ニ言フナラバ、私ハ法ノ違反デハナイカト思フノデアリマス、吾々ハ此法ガ出來ル時分ニ、モウ二年スレバ生産費ガ明ニナルト云フコトデアリマシタカラ、其後ニ立法ヲ試ミレバ宜イ譯デアアル、何ヲ苦シンデ不合理ナコトヲ茲ニ定メナケレバナラヌカト申シタモノデアリマス、大臣自身モ常ニ率勢米價デハイカヌト認メラレテ、生産費ヲ加味シテ、無理ニ互ラヌヤウニシヨウト仰シヤルノダカラ、ソコヲモウ一步進ンデ、成程オ前達ノ言フ通り率勢米價デハ動ケヌカラ止メヨウト云フ——私ハ此間本會議デ申シタガ、御聽ニナッテ、今ノ案ヨリモモット宜イモノガアレバ、虛心坦懷ニ御同意ヲ願フト申シタラバ、大臣ハ其心得デアルト、斯ウ仰シヤッテ居ル、一昨日カラノ議論デ、率勢米價ノ到底行ヘナイモノ、發動ガ出來ナイ、若クハ妨ゲニナルト云フコトハ、明瞭ニナッテ居リマスカラ、私ハ本會議ノ大臣ノ御言葉ノ通りニ、大臣モ心境ヲ一變シテ戴キタイト思フノデアリマス、又僅ニ一年此法ヲ行ッテ今日改正スルト云フコトハムズカシイト

云フ御言葉モ一昨日アッタヤウニ考ヘマス
シ、是ハ速記ニ明瞭デアラウト思ヒマス
ガ、民法ノ如キ大法典、デスラモ、未ダ實施
ニ到ラザル途中ニ民法ノ改正委員ト云フモ
ノガ出來テ、現行ノ民法ノ如ク改正セラレ
マシタコトハ、是ハ日本ノ立法史上ニ於テ
極メテ著明ナコトデアリマスカラ、御覺エ
ニナッテ居ルコト、思ヒマス、斯ノ如ク行ヒ
難イト云フコトガ明瞭ニナッタ米穀法ノ僅
ニ一二條ヲ改廢シヨウト云フコトニ大臣ガ

デアリマスカラ、ドウカ國民ノ爲チ圖ッテ、
時局ヲ救フコトニ専心ニ御ナリ下サルコト
ヲ希望スルト同時ニ、又サウ云フコトハ出
來マセヌカト伺フノデアリマス

○後藤國務大臣 大變條理ヲ盡サレテ御話

固執ナサル譯ハ毛頭ナイ、御互ニ虚心坦懷
ニヤルノガ宜イノデアラウ、何モ外ニ目的
ハナイ、吾々ハ時局ヲ救ハフト云フノデア
ル、時局ヲ救フ方法ニ、大臣ノ御考ガ最モ
宜イトスレバ、吾々ハ何時デモ從フ、其點
ニ付テ十分ニ御説明ガアッテ、吾々ハ成程ナ
ア大臣ノ考ガ宜イト云フコトデアッタナラ
バ、吾々ノ考ハ何時デモ捨テルニ吝ナラザ
ルモノデアルカラ、其點ハ御互デアリマス
カラ、大臣自身ノ御言葉デ分ッテ居ル、率勢
米價デハイケナイ、生産費デ裁量シナケレ
バイケナイ、斯ウ御自白ニナッテ居ルノデ
アリマスカラ、餘リ何時迄モ強イテ固執シ
ヨウト云フヤウナ考ハ止メテ、民政黨ノ人
ガ言フヤウナコトハ止メテ(笑聲)大臣モ黨
派ニ縛ラレナイ、自由ノ地位ニ居ラレルノ

デアリマスガ、私ノ心持ハ一寸モ拘泥モ何
モ致シテ居リマセヌ、段々御話ヲ伺ッテ居
リマスルト、ヤハリ率勢米價ガ善イトカ惡
イトカ云フ問題デハナクシテ、生産費ト云
フモノヲ考ヘテ居ラスノガイケナイノダト
云フ問題ノヤウニシカ私ニハ取レナイ、率
勢米價ト云フモノヲ根本ニシテ居ルノデハ
ナイノデアリマス、サウシテ私ハ今ノ率勢
米價ト云フ言葉ガ非常ニ行ハレマスケレド
モ、今ノ米穀法ノ規定ガ率勢米價ノ下値ニ
割、上値ニ割マデ、出動スルト云フコトハ
當座ノ積リデアリマシテ、生産費ガ出テ來
ル迄ノ間臨機ノ處置デ、生産費ヲ入レテヤ
ラスノガ變則デアル、ソレヲ入レテヤラウ
ト云フノデアリマス、ソレガ宜シイノデア
ルト云フコトヲ御諒解ニナッテ戴キタイト
私ハ思フノデアリマシテ、虚心坦懷ニ私ノ
方デモ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

ト、最早當年ノ急場ガ救ヘナイノデアリマ
ス、即チ各府縣カラ生産費ヲ報告スルノハ
本年十二月十日デアル、早イ所ハ十一月ノ
末カラ既ニ出荷ヲ致シマス、十一月ハ勿
論、十二月ニナリマシテハ、最も多ク出テ
來ル譯デアリマス、ソレニ十二月十日ニ漸
ク生産費ガ調べラレテ報告ガアリマシテ
モ、ソレノ集計、種々様々ノコトニ十日ヤ
十五日ハ掛ルモノト見ナケレバナリマセ
ヌカラ、十二月末カ、一月ノ初頃カラ漸ク
大臣ノ加味シヨウト言ハレル所ノ生産費モ
用キラレル譯ニ相成ルノデアリマス、當年
ノ十月、十一月、十二月、三箇月間ガ用キラ
レヌト云フコトニナリマシテハ、河野君ノ
言フ通り、商人ノ手ニ入ッテ居ル米、或ハ賣
ラヌデモ宜イト云フヤウナ富農ノ米ハ恩典
ヲ受ケルカモ知レナイケレドモ、中農以下、
自作、小作農ト云フモノハ賣盡シテ、大臣ノ
折角ノ御厚意ヲ空シナケレバナラヌト
云フヤウナ缺點ガアリマス、故ニ率勢米價
ト云フモノヲ御置キニナッテハナラナイト
申上ゲル、之ヲ御置キニナッタナラ、大臣ガ
如何様ニ誠意ヲ有ッテ居ラレヤウトモ、發
動ガ出來ナイカラ、斯様ナ邪魔物ハ取ッテ
除ケヤウデハアリマセヌカ、ソレガオ互ニ
宜イデハナイカト云フ御相談デアリマス、

ソコニ大臣ハ非常ニ誤解ヲ持ッテ居ラレル
ヤウニ考ヘルノデアリマス

○後藤國務大臣 非常ニ邪魔物ト仰セラレ

マスガ、半面ニハ中々之デ安心ガ出來ルモ
ノデス、生産者消費者双方ニ安心ヲ與ヘ
ル、他ノ基準ガ出來テ居マスレバ別デアリ
マス、此生産者、消費者ニ先ヅ安心ヲ與ヘ
ルモノハ、今ノ米穀法ノ基本ヲ成シテ居ル
率勢米價デ、ソレニ生産費ヲ加ヘテヤルノ
ガ、米穀法ノ本體デアル、併シソレデハ今
間ニ合ハヌトスレバ、其間ニ合ハヌ間ノコ
トニ付テハ、吾々ニ相當ノ用意ガアルト云
フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス

○清家委員 ドウモ大臣ノ仰シヤルコト
ハ、此法治國ニ於テ、法ニ違反スルモ妨ゲ
ナイト云フコトニ、結論ガ行カナケレバナ
ラヌコトニナッテ來ル、即チ率勢米價ト云フ
モノガアッテ、ソレヨリ二割下値ニナッタ
買ハウト云ヒ、二割高クナレバ賣ラウト云
フ、斯様ナ限定ガ法ニ依ッテ設ケラレテ居
ル、此限定ヲ無視スルコトニナリマシテ
ハ、法ノ威力ヲ全ク認メナイ所ノモノニ相
成リマス、何カ標準ガアルカト、私共ノ方
ヘ御反問ノ點モアリマスガ、ソレハアリマ
ス、即チ生産費ヨリハ稍、御高ク御買ヒナ
サイ、生産費ガ基礎デアリマス、生産費ハ

ルト云フノデアリマス

○後藤國務大臣 生産費ヲ加ヘテ最低ノ基準ヲ決メタイト申スコトノ實行方法トシテハ、勅令ヲ變ヘルト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌガ、唯勅令ヲ變ヘテ下値ニ割上植ニ割ト云フコトヲ改メテ、ソレヲ一割ニスルトカ、或ハ五分ニスルトカ、サウ勝手ナコトヲスルト云フコトハ出來ヌダラウト思ヒマス

○深水委員 私ノハ簡單デス、率勢米價ニ關スルコトハ、政友會ノ諸君カラモ、モウ大分御質問ニナリマシタカラ、私ハ努メテ之ヲ避ケテ、他ノ方面ヲ御尋シテ見タイト思ヒマスガ、モウ少シ當局ノ根本ノ考ニ付テ、矢張率勢米價ニ關スルコトデ一寸御尋シタイト思ヒマス、サウシテ次ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、十二月十日以後ニ於テ率勢米價ガ働ク、政府ガ發動致ストスルト、其當時米ヲ所有シテ居ル者ハ如何ナル種類ニ屬スルカ、詰リ十二月十日以後ノ頃ノ米ノ所有者ト云フモノハドウ云フ階級ノ者デアルカト云フコトニ付テ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 生産費調ノ出來マス十二月十日頃ニハマダ大部分ノ米ハ生産者ノ手ニアルト思ヒマス

○深水委員 ソレハ同ジ其生産者ノ中デモ

私ノ實際ニ付テ承知シテ居ル所デハ、小作人或ハ小地主ト云フヤウナ者ノ手カラ離レテシマッテ、大部分ノ米ハ間屋若クハ大地主——大地主トマデ行カヌデモ、相當ノ生計ヲ立テ居ル人ノ手許ニアルノデハナイカト思フノデアリマス、詰リ今日ノ非常時ニ於テ吾々ガ最も著眼シテ居ルノハ、小作人若ハ小地主ト云フヤウナ非常ニ貧困ニ陥ッテ居ル者ヲシテ、生産費ヲ割ッテ米ヲ賣ラセルト云フコトハ、非常ニ可哀相ダト云フコトカラ出發シテ居ルノデアリマスガ、此根本ニ付テ當局ノ觀察ハ詰リ十二月十日以後ト十日以前ト同ジコトニ考ヘテ、小作人若ハ小地主ノ手カラ米ガ離レテ居ルトハ御考ニナラスノデアリマセウカ、是ハ吾々ノ意見ノ出發點ニ大關係ヲ有ツノデアリマスカラ、其點ニ付テ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 生産費ヲ加味シタ下値ニ割ッ標準ニシテノ米ノ買發動ハ米ノ生産費調ガ出來タ後デナケレバ出來マセヌ、併ナガラ生産費ヲ加味シテ米ノ買發動ヲスルトナリマスレバ、御話ノヤウニ十二月十日前ニ賣ル所ノ米ニモ相當ナル影響ハ必ズアルモノデアルト思ヒマス、其時迄持チ耐ヘテ行カナケレバ其利益ハ無イト云フヤウナコトデハナイト思ヒマス

トデハナイト思ヒマス

○深水委員 ソコニナリマス議論ニナリマスシ、又見込ガ違ッテ居リマスカラ、私ハ餘リ申シマセヌ、唯私ハ大臣ノ只今ノ御答辯ハ頗ル遺憾ニ思ヒマス、實ニ今日ノ各農村ニ於ケル疲弊困憊ト云フモノハ、下手ヲシマスト立毛ノマダ未熟ノモノヲ刈込ンデ生活シナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニ陥ッテ居ルノデアリマス、又養蠶ヲヤッテ居ル者モ、繭ガ幾ラ安クッテモ賣ラナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニ陥ッテ居ルト信ズルノデアリマス、吾々ノ此時局救済ト云フモノ、著眼ノ重點ハ、詰リ此貧困者ヲ救フト云フコトカラ出發シテ居リマス、併シ是ハ大體双方ノ見込ガ違フノデアリマスカラ、此上申上ゲテモ議論ニナリマスカラ止メマス

次ニ御尋シマスノハ當局ト致シマシテハ米ノ生産ニ對シテ統制スルト云フ考ハナイノデアリマセウカ、毎年出來高ノ豫想ガ農林省カラ御發表ニナリマス、ソレデ大體ノ米ノ相場ト云フモノハ決マリマス、ソコデ愈シ生産過剩ニナッテ來ルト云フコトニナルト、如何ナル力ヲ以テシテモ米ノ暴落ヲ喰ヒ止メルコトハ出來マセヌ、ソコデ此生産ト云フモノヲ調節スル、單ニ日本バカリデナク、臺灣、朝鮮、或ハ新國家デア

所ノ滿洲國モ現在開墾ヲヤッテ居リマスカラ、是カラハ非常ニ立派ナ米ガ出來ルト思ヒマスガ、要スルニ是等ノ關係ノ調節、即チ是等ノ米ノ總產出高ト云フモノガ我國ノ現在ノ需要ニ對シテドウ云フ比例ヲ持ッテ居ルカ、是カラハ此儘ニシテ置クト毎年毎年必ズ生産ハ多クナッテ來テ、米ノ相場ト云フモノハ下ル、極端ニ下ッテ行ク、デア

カル政府ノ統制ノ下ニ此生産ノ手控ヘヲスルト云フ御方針ハアリマセヌカ、此點ヲ伺ヒマス

○後藤國務大臣 米ノ生産ニ付テ日本全國、或ハ日本ニ直接關係ヲ有ツ場所ヲ全體

的ニ考ヘテ、生産ニ付テ一ツノ統制計畫ヲ立テナケレバナラヌデハナイカト云フ御說ハ御尤ト思ヒマス、併シ是ハ中々容易ナコトデアリマセヌ、出來ル限り米ガ過不及ナク出來ルト云フコトヲ希望スルモノデアリマスガ、豐凶ノ關係ガ段々重ッテ參リマスノデ、生産上ノ長期ニ亘ッテノ對策ヲ立テ、或ハ増殖ノ計畫ハ斯ウ云フ程度ニヤラウ、或ハ斯ウ云フコトハモウ廢メテシマハウト云フヤウナコトナドモ將來大ニ考慮シナケレバナラヌ事デアラウト思ヒマス、今日迄ノ所デハ寧ロ米ノ需要ニ對シテ供給

ガ不足シテ來ルト云フヤウナ見込ノ下ニ於テ増殖等ガ獎勵サレテ參リマシタガ、今後ソレヲ無限ニ増殖ヲ圖ツテ行クガ宜シイカドウカト云フコトハ、今日ノ事情カラ見テ餘程能ク考慮スベキコトデアルト思ヒマス

○深水委員 御話ハ分リマシタガ、例ヘバ開墾助成ニ對シテ國家ガ金ヲ出スト云フコトニナリマシタノハ、能ク記憶致シマセヌガ、原内閣ノ當時デアッタ思ヒマス、其頃ハ米騒動マデ起リマシテ、米ノ生産ガ需要ニ對シテ足ラナイト云フコトカラ、成ベク米ヲ澤山作ラウト云フ考カラ、即チ開墾ノ助成ヲスルト云フコトニナッタデアリマス、併シ今日ニナリマスト、其時代ト違ヒマシテ相當ニ開墾サレ、非常ニ耕作地モ殖エテ居ル、殖エテ居リナガラ政府トシテハ矢張需要ニ對シテ生産ノ不足シタ原内閣カ或ハ寺内内閣ノ頃ノ考ヲ其儘持ッテ居ッテ、ドン／＼開墾ト云フコトヲ助成シテ行ク御方針デアルカ、私ハ此際能ク申上ゲテ置ナケレバナラヌコトハ、例ヘバ臺灣デアリマス、臺灣ノ米ニ付テノ統計ヲ昨日戴キマシタガ、昭和二年頃デハ百二十萬石位日本ニ入ッテ居リマスガ、今日ハ百九十萬石モ入ッテ居ル、其臺灣ノ状態ヲ見マスト、初メ

ハ在來ノ米デアッタモノガ次々々々蓬萊米ニ變ッテ居ル、又臺灣總督府ノ方針トシテハ成ベク良イ米ヲ作ラウト云フ考カラ盛ニヤツテ居リマス、サウ云フ風ニナツテ來ルト、臺灣トシテハ澤山蓬萊米ガ出來ルト云フコトハ宜イカモ知レマセヌガ、結局ソレハ自繩自縛デ、米ガ多過ギテ困ルト云フコトニナル、朝鮮デモ其通り、次第々々ニ在來米ヲ廢シテシマツテ、サウシテ日本ノヤウナ立派ナ米ヲ作ツテ、今日デハ蓬萊米ヨリモ良イ米ガ出來ントシテ居ル、サウ云フヤウニ次第々々ニ良イ米ヲ作ルト云フコトガ即チ一般ノ趨勢ニナツテ居ル、又滿洲ノ新國家デモ——是ハ關稅ハ課ルカモ知レマセヌガ——滿蒙ノ新國家ニ於テモ盛ニ開墾チャルト云フ時ニ於テハ、成ベク米ノ生産ノ統制ト云フコトヲ當局トシテ御考ニナルコトガ非常ニ必要ナ事デアルト思フ、而モ其爲ニハドウ云フ事チャッタガ宜イカ、第一ニ著手シナケレバナラヌコトハ、例ヘバ今度ノ豫算ヲ拜見シマスト、失業救濟ノ下ニ開墾事業ト云フモノニ金ヲ出シテヤルコトニナツテ居ル、一方ニ米ノ生産ガ多過ギテ米ガ高クナルト云フコトヲ謳ッテ置キナガラ、一面ニハ開墾ニ對シテ斯ウ云フ場合デモ助成スルト云フコトニナル矛盾

シテ來ル、其點ニ付テ何カ御考ニナッタコトハナイカ承リタイ

○後藤國務大臣 今度ノ匡救豫算ニ開墾費ガ出テ居リマスガ、是ハ專ラ小サナ開墾ヲ助成シヨウトシテ居ルノデアリマス、併シ大キイ開墾モ這入ッテ居リマスガ、非常ニ大規模ノ開墾ハ今度ノ匡救事業トシテヤラセナイ積リデアリマス、是ハ唯米ノ需給ト云フヤウナ問題ヨリモ、其地元々々ノ農民ガ自分ノ手ニ土地ヲ有タズ、食糧品ノ生産等ニ不十分デアルト云フヤウナ所、又農家自身ガ今後經濟的更生ヲスルノニ、多少手近ニ開墾スル土地ガアレバ開墾シテ持ッテ居レバ宜シイト云フヤウナ所ヲ、開墾サセルコトガ、將來ノ爲メ及現在ノ匡救ノ爲ニ適當ト考ヘタノデアリマシテ、是ガ爲ニ米ガ増殖スルト云フ風ニハ考ヘマセヌ、又或ル程度ソレガ爲ニ米ガ増殖シマシテモ、今日ノ匡救事業トシテヤルヤウナ性質ノ開墾カラ起ル事柄ハ、ソレハ大シタ影響ノアルモノデハアリマセヌ、大キナ米ノ生産ト統制、米ノ將來生産増加ノ計畫ト云フヤウナモノニ直接サウ觸レルコトデナイ、寧ろ當面ノ急務トシテヤラシテ居リマス

○深水委員 分リマシタ、併シ開墾ナルモ

ノハ、是カラ臺灣デモ朝鮮デモ、或ハ滿洲デモ其開墾ニ付テモ或ハ現在ニ於ケル水田ニ對シテモ當局トシマシテハ、其生産ヲ抑ヘル爲ニ他ノモノニ植替ヘル、詰リ今マデ稻ヲ植エテ居ッタモノヲ他ノ農業ニ轉化サスト云フ考ハ出ナカッタノデセウカ、ソレカラモウ一ツ今度ハ非常ニ農民ガ苦シンデ居ル生産費ノ高イト云フコト、其生産費ヲ安クスルト云フコトモ非常ニ是ハ急務デアルト思フ、詰リ今日ノ農村ノ危急ヲ救フト云フコトハ、一面ニ於テハ米ヲ吊上ゲルコトモ必要デアリマスガ、併シ米ノ吊上ト云フコトハ、是ガ過ギマスト將來ニ非常ニ影響ヲ及ボシマスカラ、ソレヨリモ他ノ消費者ニ對シテモ害ガナク、生産者ノミニ利益ガアル方面カラ見ルト、生産費ヲ減ズルト云フコトヲ御考ニナラナカッタカ、生産費ヲ減ズルニ付テハ何ガ一番宜イカト云フト、肥料デアリマス、此肥料ニ對シテ徹底的ニ統制ヲシテ、之ヲ國家ノ手ニ取ッテ國家ガヤル、從來ヨリモ半額位デ配給ガ出來ルト云フコトニナルト、農村ハ非常ニ助カルト私共ハ思フ、此點ニ付テ生産費ヲ減ジテ、其結果ニ於テ米ガ安クテモ農村ガ助カルト云フ風ナ消極的ノ肥料統制ニ付テハ御考ニハナラナカッタデセウカ

○後藤國務大臣 肥料ノ値段が成ベク安イ

方ガ農民ノ爲ニ宜シイト思ヒマス、隨テ今度ノ豫算ニ於テ自給肥料ノ獎勵ヲ致シテ居ルノモ其爲メデアリマス、尙ホ金肥ノ問題ハ自給肥料ヲ幾ラ獎勵シテモ相當ノ額ガ必要ニナルニ相違アリマセヌ、之ヲ統制シテ非常ニ安イモノニスルコトガ出來レバ、非常ニ結構ダト思ヒマス、唯今日肥料ヲ統制シテ——之ヲドウ致シマスカ、或ハ國家管理ト云フコトニシマスカ、國營トシマスカ、或ハ肥料製造ニ向テ何カノ統制ヲ加ヘルト云フコトニ依ッテ、直チニ非常ナ安イ肥料ノ供給ガ出來ルヤウニナルト云フコトハ、餘程疑問デアリマス、肥料ノ統制問題ニ付テハ當局デモ從來カラ研究シテ居リマスシ、只今デモ銳意攻究ハ致シテ居リマスケレドモ、只今ノ狀勢ニ於テハ餘リ直接ナ作用ヲ直グ考ヘナクトモ、金肥ノ問題ハ相當工合能ク行ッテ居ルト考ヘテ居リマス

○河野委員 只今質問應答ノ中ニ小作人並ニ自作者、所謂地主以外ノ販賣米ノ御議論ガ出タノデアリマスガ、昨日私が申上ゲタノト、大臣ノ御意見ガ食違ッテ居リマスノデ伺ヒマスガ、九月、十月、十一月、十二月、所謂生産調ガ出來ルマデニ、是等ノ中小農ガ賣出ス米ノ數量ガ、大體販賣米ノドノ程

度ノ率ヲ占メテ居ルカト云フ問題ハ米穀要覽ニ依ッテ明カナノデアリマス、ソレヲ只今大シタ量ニ上ラヌ、生産者ノ手ニ大部分在ルト云フ御答辯デアリマシタガ、是ハ統計ニ依ッテ明カナノデアリマスカラ御取消ヲ願ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 私人ノ申スハ十二月ノ十日前後ノコトヲ申シタノデアリマス、其統計ガドウ云フ工合ニ出テ居リマスカ、生産費調ガ何時出來ルカト云フコトニ關聯シテノ御話デアリマスカラ、其時ハ可ナリ大部分ハ生産者ノ手ニ在ルト申シタノデアリマス

○河野委員 十二月十日ト云フ、御議論ヲ爲サイマスガ、ソレナラハキリ伺ヒマスガ、十二月十日ハ農林省ニ各府縣カラ集計ガ集マル日デアリマス、集計ノ集マル日ニ即日統計ガ出來マスカ、昨日ノ米穀部長ノ御話ニ依リマス、十二月十日マデニ各府縣カラ最終ノ報告ヲサセルト言ハレタガ、ソレカラ直グ集計ニ掛ッテ十日ニ生産調ガハッキリ出來テ、其十日以後生産調ニ依ッテソレヲ加味シタ米穀對策ガ出來マスカ、ハッキリ御答辯ヲ願ヒマス

○後藤國務大臣 十二月一日ニ地方廳ガ最後ノ報告ヲ爲スト云フ豫定ニナッテ居リマ

ス、隨テ十二月十日頃ハ生産費ノ調ガ出來得ル時期ナノデアリマス

○河野委員 昨日ノ御答辯デハ十二月十日ニ農林省ニ集マルト言ハレタガ、ソレハドウナノデス

○長瀬政府委員 十二月一日ニ縣廳ニ集マリマシテソレヲ出シテ參リマシテ、大概五日頃ニハ集マルト思ヒマス、ソレカラ大車輪デヤッテ、結局十日頃ニ終了スルコトニナルノデアリマス

「違ッテ居ル、此處ニハサウ書イテナイト呼フ者アリ」

○深水委員 モウ一ツ私ハ時間モナイカラ簡單ニ御尋致シマスガ、農林省カラ農作ノ出來高ニ付キ豫想ガ發表サレマス、是ガ基礎ニナッテ總テノ米ノ値段ガ動クノデアリマス、ソコデ大概御經驗ニ依リマシテ此出來高ノ豫想ガ付キマス、茲ニ非常ナ手段ヲ施サナケレバナラス、農林省ノ働キトシテ米ニ對スル大問題ヲ解決スルニハ其豫想ノ即刻デナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、詰リ生産費ノ必要モアリマセウガ、本當ニ農民ノ困窮ヲ救フ、即チ生産費ヲ割ッテモ構ハナイト云フノデハナクテ、生産費カラ割ラスマイト農林省ガ思ハレルナラバ、此出來高ノ豫想ノ出來マシタ時ニ於

テ、農林省ハ茲ニ非常ナ決心ト勇氣ヲ以テ或ル行爲ヲシナケレバナラスト思フ、其點カラ言ヒマシテ、今ハサウ云フコトヲ餘リ農林省ハサレヌヤウデアリマスガ、私共考ヘマス、其時ニ於テ出來高ガ多イ、四百萬石或ハ五百萬石殘ル、即チ剩餘ガ出來ルト云フ見込ガ付イタナラバ、其時ニ思切ッタ買ヒ方ヲシナケレバナラスノダト思フ、其大英斷ヲ茲ニ行フト、ソレガ基礎ニナリマシテ、總テノ米價ガ低落ヲシナイ、デアリマスカラ其時期ニ働カナケレバナラスト致シマシタナラバ、今ノヤウニ十二月十日頃ニ農林省ノ頭ガ決マルト云フコトデハ、中

中ニハ困難ナコトデアッテ救ハレナイト思ヒマスガ、此點ダケヲ簡單ニ御尋致シタイ

○兼田委員 一寸先刻ノコトデ、此參考書ヲ讀ンデ見マセウ、十二月中旬ニハ大體豫定ノ通調査成績ノ取纏メヲ完了シ得ル見込ナリトアリマス

○長瀬政府委員 私共ノ方デ此處ノ粃ガ幾ラ、勞銀ハ幾ラト云フ此材料ガ五日頃ニハ確ニ纏ルカラ、其取纏メノ集計ヲ終ルノハ十二月十日頃ダラウト思ヒマス

○兼田委員 集計ト取纏メト同ジ意味ト承知シテ宜シウゴザイマスカ……

○河野委員 是ハ法文ノ解釋デハッキリ御

承リタイ

分リニナラヌカモ知レマセヌガ、一寸農林大臣ニ伺ヒマスガ、十二月十日ニ生産調ガ出來ル、其生産調ガ幾ラニナルカ、恐ラク

○後藤國務大臣 私ハ出來ルダケ生産費ニ近イ値段ニ其金額ヲ決メタイト思ッテ居リマス

其見當ハ豫測ヲ許シマセヌガ、ソレガ出來

○河野委員 生産費ニ出來ルダケ近イ値段、即チ極端ニ申セバ生産費デオヤリニナルト言ハレ、バ、茲ニ更ニ最初ノ論議ニ戻

ニ開キガアル、其時ニハ農林大臣ハ其開キノ間デ御買上價格ヲ決定ナサルト云フノデアリマスカ、其點ハ如何デアリマスカ

リマシテ、率勢米價下値二割ハ何ノ必要ガアツテ、之ヲ主張爲サルノデアリマスカ、農林大臣ノ御意見ガ生産費ニ成ベク近クシテ

○後藤國務大臣 ソレハ委員會ノ議ヲ經テ

ヤラウ、生産費ニ成ベク近イ所ノ最低値段ヲ決メヤウト云フ御意見デアアルナラバ生

基準價格ヲ定メルコトニナリマス、其決メ方ハ下ニ近クスルカ、上ニ近クスルカ、或ハ真中ニスルカ、其時ノ色々ナ事情ニ依ッテ決メマス、是ハ米穀委員會ノ議ヲ經テ決メルコトニナリマス、ソレカラ其値ヲ決メルト云フコト、買ニ出ルト云フコト、ハ別デアリマス

產費ヲ主トシテ、極論スルナラバ生産費ニ重點ヲ置イテオヤリニナラウト云フ御意見デアリマスナラバ、何ノ必要ガアツテ率勢米價ノ下値二割ト云フモノヲ御主張爲サルノデアリマスカ、此點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○河野委員 今御説明ニ依リマスト米穀委

○後藤國務大臣 米穀法ハ其間デ適當ナ所ニ決メルト云フコトニナッテ居リマス、今私

員會ヲ開イテ御決メニナルト云フ御答辯デアリマスガ、米穀委員會ハ農林大臣ガ召集致シマシテ、農林大臣カラ提案ガアル筈デアリマス、農林大臣カラ議案ヲ御出シニナラナクレバ米穀委員會ハ審議出來ナイノデアアル、米穀委員會ガ自ラ案ヲ持ッテ臨ムノデハナイ、其場合農林大臣ハドウ云フ腹案ヲ持ッテ御臨ミニナルノデアリマス、ソレヲ

ノ腹案デハ出來ルダケ生産費ニ近イ所デ決メタイト思ッテ居リマス、此下値二割ト云フ問題ガドウ参リマスカ、是ハ色々ナ場合ガ想像出來ル、若シ米ガ高イ、率勢米價ノ基準ガ他ノ物價トノ關係デ高クナルト、生産費ヨリ高イ所ニ下値二割ガ行ク場合モアリ

得ル、サウ云フ場合ニハ却テサウ云フコトヲ考ヘルコトガ善イカ悪イカ、ソコニ問題

○後藤國務大臣 率勢米價ノ下値二割ヲ主

ガ起ッテ來ル、生産費ヨリ低イ値段ニアル時ニハ成ベク生産費ニ近イ値段デ決メタイト思ヒマス

張スル譯デハナイノデアリマス、下値二割ト生産費トノ間デ、其時ノ社會情勢ヲ見テ定メテ米穀法ヲ運用シテ行カウト云フノデアツテ、率勢米價ノ下値二割ヲ固執シテ、ソレデナクレバ、買發動ノ基準ト云フモノハ

○河野委員 私ハ理想論ヤ根本論ヲ言ッテ居ルノデハナイ、今年ノ問題ヲドウスルカト云フコトニ付テ論ジテ居ル、今年ノ米價ガ現ニ下値二割ノ十七圓八十何錢カヲ切ッテ居ル、生産費ハ前年ガ二十圓幾ラト明カ

動カサヌト云フノデハナイノデアリマス

ニ出テ居ル、今年モ恐ラク之ニ大シタ變動

○河野委員 私ノ言フノハ、率勢米價ノ下

ハナイト思フ、サウスレバドウシテモ今ノ情勢デハ率勢米價ノ下値二割ノ十七圓幾ラ以下ニナラウトハ考ヘラレナイ、若シ生産費ガ十七圓幾ラ以下ニナルト思ヘバ、何ヲ苦ンデ吾々ガ率勢米價ヲ廢止セヨナド、言ヒマセウカ、ソコデ當面ノ問題トシテ、生産費ハ二十圓幾ラニナリ、率勢米價ノ下値二割ガ十七圓幾ラダト云フカラ議論ヲスル

値二割ト生産費トノ間ニ於テ定メルト云フコトハ、是ハ法ニ依テ明カノコトデアアル、其法ニ依テ明カノ問題ヲ定メル場合ニハ米穀委員會ヲ開イテ定メナクレバナラス、其米穀委員會ハ農林大臣ガ召集スル、召集シテ其委員會ニ提出スル原案ト云フモノハ農林大臣ガ作ッテ提出シナクレバナラス、其場合ニ農林大臣ハドウ云フ腹案ヲ御出シニナルノカト尋ネマシタ所、農林大臣ハ成ベク

ノデアル、今大臣ハ生産費近ク定メヤウト言ハレタガ、之ヲ極端ニ言ヘバ農林大臣ノ腹デハ生産費デ定メヤウト云フコトニナル、ソレガ妥當デアルト云フ御議論デアラウト思フ、然ラバ生産費近ク定メルト云フナラバ何ヲ苦ンデ下値二割ト云フモノヲ主張サレルノデアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

生産費ニ近イ値段デ定メタイト云フ御答辯ヲサレタ、ソレハ明カデアアル、サウ云フ御答辯ヲサレタ以上ハ、農林大臣ハ成ベク生産費ニ近イ値段デ定メヤウト云フナラバ、農林大臣ハ何ヲ苦ンデ下値二割ノ十七圓幾ラト云フヤウナモノヲ主張サレルノデアアルカ、將來永遠ニ此法律デ臨ンデ行クト云フナラバ、ソレハ自ラ別デス、吾々ノ言フノハ今年ノ米價ヲドウスルカト云フ、眼前ニ

横ッテ居ル現實ノ問題ヲ言ッテ居ル、之ヲドウスル御考デアリマスカ

○後藤國務大臣 私モ今年ノ米價ノコトニ付テ論ジテ居ルノデアリマス、唯將來ノコトヲ言ヘバ、ソレハ下値ニ割ト云フモノガ生産費ヨリ上ニナルコトモアルデアラウト云フコトハ議論トシテ申シタノデアリマス

○河野委員 今年ノ問題ハ生産費ニ成ベク近ク定メルト云フコトニ了承シテ宜シウゴザイマスカ

○後藤國務大臣 サウ云フ腹案デアリマス、唯其時ノ社會情勢ニ依テ定メナケレバナリマセヌカラ、生産費ニキチット定メルト云フヤウナ譯ニモ參ラヌカモ知レマセヌシ致シマスノデ、下値ニ割ト云フモノヲ存シテ置クコトハ一向差支ナイト思ッテ居リマス、唯サウ云フモノ、間デ以テ、生産費ニ近ク定メラレルノデアリマスカラ……

○河野委員 成ベク生産費ニ近ク定メラレルノデアアルカラ下値ニ割ヲ廢止スル必要ナシト言ハレルガ、上値ト下値トノ間デナケレバ定メラレナイト云フコトニナッテ來ルデハアリマセヌカ、其下値ニ割ト云フモノガナケレバ生産費ナリ、生産費以上デ定メラレルノデアアル、更ニ議論スルナラバ、吾

吾ハ生産費デ定メルコトガ妥當ダトハ考ヘテ居ラス、少クトモ總テノ産業ト云フモノハ生産費ダケデアッテハ少シモ儲ケハナイ、ドウシテモ生産費以上デナケレバナラス、ソコデ更ニ論ズルナラバ農林省デ調ベラレタ所ノ全國平均ノ生産費デアルガ、全國ノ中ニハ其平均ノ生産費以下ノ所モアリマセウガ、又ソレヨリ上デナケレバ生産費ガ償ハナイト云フ階級モ多々アル、農林省デ調ベラレタ生産費デハ更ニ儲ケハナク、却テマダ損ヲシナケレバナラスト云フ階級ハ全國ニ恐ラク半數以上アルト思フ、ソレハ即チ下値ニ割ト云フコトニ拘泥サレルカラ、生産費以下デナケレバ米穀委員會ニ提案出來ヌト云フワウナ現狀ニナッテ居ルモノト私ハ思フガ、其點ハドウデアリマスカ

○後藤國務大臣 御話ノヤウナコトニナリマスカラ、サウナッタラバ政府ハ米穀法ヲ運用シテ買發動ヲスル、政府ハ力ヲ以テ買發動ニ出ルコトニナルノデアアル、即チ生産費ヲ割ッテ下ッテ行ッテ困ラウト思フカラ、買發動ヲスルノデアリマス、ソレ以上ニナルコトヲ固ヨリ希望スルノデアリマスケレドモ、ソレハ政府ガ出テ行ッテモ、米穀法ノ仕組ミノヤウナモノデサウ動クモノデハナイ

○胎中委員 河野君ノ質問ニ關聯シテ一寸伺ヒタイ、昨年米穀法ノ改正ノ時ニ私ハ委員ニナッテ居ッテ多少聽イテ居リマスガ、今ノ所ハ生計費並ニ生産費ト云フモノハハッキリ分ッテ居ラス、所謂率勢米價ニ依ル物價指數一本デ參ッテ居ル、若シ生産費ガ分リ、家計費ガ分リマシタ場合ニ、其物價指數トノ睨合ヒト云フモノハ、何カハッキリシタ標準ガアルノデアリマセウカ、是ハドウ云フ割合デ出來ルモノデアリマスカ

○長瀬政府委員 物價指數ト生産費トノ、睨合ヒト言ヒマスカ、物價指數ノ方ハ此率勢米價ヲ作りマス時ニ之ヲ用キマス、從テソレヲ用ヒテ拵ヒマシタ所ノ率勢米價ノ下値ニ割ヲ出シマス、生産費ハ生産費又別ニ細カイ材料カラ取りマス、其二者ヲ取りマシテ、其間ニ於テ米穀委員會ノ御決議ヲ仰グノデアリマス

○胎中委員 ソレナノデス、ソレデ其物價指數ト、ソレカラ生産費、家計費トノ睨合ヒニハ必ズ何處カニ標準ガナケレバナラスモノダト思ヒマスガ、其標準ハドウ云フヤウニシマスカ、睨合ヒノ標準デス

○長瀬政府委員 物價指數カラ出テ來マス率勢米價ハ日本銀行デ發表シテ居リマスル所ノ五十四品目デアリマスガ、其平均ノ物

價指數ニ對シマシテ、凡ソ米價ノ指數ノ在リ所ト云フノハ、從來ノ趨勢ニ於テ何處ニ置クベキカト云フコトヲ見出スノデアリマス、從ヒマシテ今度ハ實際ノ實狀ニ應ズルト云フト、生産費ト云フモノヲドウシテモ考ヘナケレバイカス、ソレデ普通アルベキ在リ所ハ此處ダガ、扱テソレバカリデハ困ル、ソコデ吾々ハドウシテモ生産費ヲ見テ置カナケレバナラスト云フノデ、兩方ノ中間ノ所デ出來タ、斯ウ云フ交ゼ合ノモノガ茲ニ出來ルト云フコトヲ豫想シテ居ルノデアリマス

○胎中委員 ソレガ重要ナコトダト思フノデアリマスガ、生産費ト只今現ハレテ居ル所ノ數字トアナタノ仰シヤル物價指數カラ出タ所謂率勢米價、是ノ間ニ非常ナ開キガアルガ、サウ云フ場合デ生産費ト、家計費ト、其率勢米價トヲ睨合ハサレル、ソコニ何カ標準ガナケレバナラス、何カ歩合ト言ヒマスカ、其算定ハドウナッテ居リマス

○長瀬政府委員 此物價指數ト云フモノカラ直接生産費、家計費ト云フモノハ參ッテ居リマセヌ、ソレハ立前ガ物價指數カラ參リマス所ノ率勢米價ハ、何レハ假想ノ數字デアリマス、申スマデモナク此數學ノ計算カラ出テ參リマシタ一般物價指數ニ依レ

バ、米價ハ一寸其上ニアル數字デゴザイマスカラ、從來ノ趨勢ヲ以テシマスレバ、何レノ所ニアルベキカト云フ一ツノ假想數字ニナリマス、生産費ノ方ハ今後ハ實際昨年来農家ガ日々勞力ヲ用キ肥料ヲ用キ、實地ニ即シタ實際カラ出テ居リマス、唯ソコニ平均ト云フ働キガ起ツテ、平均ト云フモノガ多少假想ニナリマスガ、基キマス所ハヤハリ實際カラ出テ居リマス、此爲ニ二ツノモノヲ晚合ハセルノデアリマスカラ、基本ガ同ジデナイモノガ兩方ニ立ッテ居ルノハオカシイノデハナイカト云フ疑問ハ一應起キルダラウト思ヒマスガ、其處ニ一ツノ妙味ガアルト言ヘバ言ヘルノデ、一般ノ消費者モ、生産者モ見テ一般物價ノ流レガ斯ウ云フ流レヲ辿ッテ居ルノデアリマス、其時ノ米價ノ在リ所ハ凡ソドノ邊ヲ流レテ行クベキモノダト云フコトヲ見テ、其假想數字ヲソレダケデハ困ル、生産費ヲ考ヘテ貰ハナケレバイカスト云フノデ、生産費デ牽制シ、又牽勢米價下値ニ割ト云フコトモ生産費ト云フモノヲ幾分牽制スルト云フノデ、斯ウ云フ混血兒ガ一ツ出來ルモノダト、斯ウ御考ヲ願ヒタイ

○胎中委員 今ノ説明デハ私ノ聽カウト欲スル趣旨ニ適ッテ居リマセヌガ、暫クアナタ

ノ仰シヤッタ通リト致シテ、要スルニアナタノ方ノ御答ハ其晚合ノ基準ト云フモノガナイ、斯ウ云フ風ニ聽カナケレバナラス、サウ致シマスルト、牽勢米價ノ値ト、ソシテ生計費ト、生産費トノ間デ假定シマス、其間ニ非常ナ開キガアリマス、此開キノアル場合ニ農林大臣ノ自由勝手ニ出來ルト云フ結論ニ達シマス、ソレトモサウデハナク、何カソコニ晚合ス所ノ基準歩合、ソレガナケレバナラス答ダト思フノデアリマスガ、ソレヲハッキリ伺ヒマス

○長瀬政府委員 只今ノ點ハ何レハ是ハ專門家ヲ煩シマス所ノ米穀委員會ノ議ニ諮ラナケレバナラス、唯此處ニ出スノハ、只今河野議員ガ言ヒマシヤウニ何カ原案ヲ出サナケレバナラス、其原案ハ何ニ依ッテ作ルカト云フコトニナリマス、ドウシテモ其一般社會事情竝ニ其當時ノ米穀事情ニ依ル、凡ソ其當時カラ見テ今年一杯使フ所ノ米價ノ基準ト云フモノハ、此調子デハ餘程手堅イト見ルコトニナリマス、其手堅イ狀況ニ應ジマシテ、然ルベキ所デ定メル、或ハ弱イト見マスレバ其反對ニ定メルト云フコトニナリマスノデ、一般ノ社會事情、經濟事情、米穀事情總テヲ綜合シマシタ所デ、之ヲ今數字のニドウスウト云フコト

ハ申上デ惡イノデアリマスガ、其趨勢ヲ觀察シマシテ、適切ト認メマシタ所デ定メマシテ、ソレヲ委員會デ叩イテ貰フ、サウ云フ譯デアリマス

○深水委員 先刻ノ私ノ質問ニ對シテ大臣ノ御答辯ガナカッタヤウデアリマスガ、御答辯ヲ御願致シタイ

○東委員長 深水君ノ質問ニ對シテ大臣ノ御答辯ガナカッタサウデスガ……

○後藤國務大臣 質問應答ガ長クナッタノデ、御質問ノ要領ガハッキリ致シマセヌデシタガ、モウ一度御質問ヲ願ヒタイ

○東委員長 質問ノ要領ガ分ラナカッタサウデス

○深水委員 先刻御尋致シマシタノハ、此米ノ一年ノ收穫ト云フモノ、豫想ガ農林省カラ發表サレル、此發表ニ依ッテ米ノ値ト云フモノガ動ク、例ヘバ六百萬石若クハ五百萬石餘ルト云フコトノ見當ガ附クト、從テ米ハ安クナル、足ラヌト云フコトノ報告ニナルト、ソレヨリ米ガ上ッテ行ク、其時ニ農林省ガ思切ッタ米穀法ノ働キヲセネバナラス、併シ十二月十日以後デナクテハ徹底シタ動キガ出來スト云フ牽勢米價ニ及ボサレルナラバ、米穀法ノ此働キハ出來ヌコトニナリマスガ、其事ニ付テドウ云フ御考デ

ス

○後藤國務大臣 十一月中ニ米ノ豫想ガ發表サレル、其時期ニ此米ノ需給關係ヲ調節スル爲メノ買上、又ハ賣却ト言ッタヤウナ態度ヲ決メナケレバナラスデハナイカ、十二月迄待ッテハ遅クナルデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ出來ル限り早く需給ヲ見テノ買上ヲスルカシナイカト云フ態度ハ決メタイト思ヒマスガ、併シ今ノ所何時頃出來ルカト云フコトハハッキリ申上ゲ兼ねマス、成ベク早クヤリタイト思ッテ居リマス

○深水委員 成ベク早クヤリタイト云フ當局ノ御意見デアリマスガ、併シ牽勢米價ニ依ッテドウシテモ十二月十日以後デナクテハ十分ナル動キハ取レヌト云フコトニナッテ居リマス、十一月ノ半頃ニハ大キナ一ツノ釣上方法ト云フモノヲ行ハナケレバナラスコトガ出來ルノデハナイカ、併シ斯ウ云フ牽勢米價ノ法律サヘナイト、詰リ何時デモサウ云フ時機ニ先手ヲ打ッテ米ヲ暴落サセナイ手段ガ付クノデヤナイカ、其手段ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フノデス

○後藤國務大臣 ソレハ其時ハ豫想デアリマス、マダ出廻ノ時デハナイノデアリマス……

ス

「ソレハ違フ、出廻ノ時ダ」休憩々々」ト呼フ者アリ」

○東委員長 ソレデハ此程度デ休憩致シマス、午後一時半カラ更ニ再開致シマス

午後零時三十二分休憩

午後一時五十分開議

○東委員長 是ヨリ開會致シマス、總理大臣ノ御出席ノ要求ガアリマシタノデ、只今總理大臣ガ御出席ニナリマシタ、委員長カラ總理大臣ニ一應申上ゲマスガ、米穀需給特別會計、其他數件ノ議案ハ連日本委員會ニ於テ審議サレテ居ルノデアリマスルガ、總理大臣ハ豫算委員會、其他ニ於キマシテ米價政策ニ付テ根本對策ヲ樹立スルト云フコトノ御言明ガアッタヤウニ承ッテ居リマスルガ、此米穀委員會ニ對シテハ此法案ヲ審議スル上ニ於テ極メテ重要ナルコトデアリマス、且ツ總理大臣ノ御言明ノ趣意、或ハ信念等ニ付テ總理大臣ノ意見ヲ確メタイト思ヒマス、是ガ委員會ノ要求デアルノデアリマスルカラ、同僚カラシテ質問ガアラウト思ヒマスガ、餘リ多クノ時間ハ要シナイト思ヒマス、其點ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○寺田委員 今度ノ臨時議會ガ非常時局匡救ノ爲メデアルト云フコトハ吾々承知シテ

居リマス、又政府ニ於テモ其趣旨デ茲ニ諸種ノ對案ヲ御提案ニナッテ居リマスガ、殊ニ農村ノ疲弊困憊ハ今ヤ天下ヲ掩フテ居ル聲デアルト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、此農村ノ疲弊困憊ヲ匡救シテヤル上ニ於テ、茲ニ應急對策トシテ米穀法ノ改正案ガ提出サレテ居ルノデアリマス、併シ此應急對策ダケデ到底満足出來ナイト云フコトハ、何人モ認メテ居ル所デアリマス、ソコデ現内閣ニ於カレテモ先般總理大臣ノ施政方針演說ノ中ニ、米穀部ヲ設ケテ米穀等ニ對スル根本對策ヲ樹立スルト云フ御話ガアッタヤウデアリマス、其根本對策ニ對スル現内閣ノ信念ト云フカ、計畫ト言ヒマスカ、略、御腹案等モ出來テ居ルナラバ、吾々之ヲ承ッテ置クコトガ、今日此米穀法案ヲ審議スル上ニ於テ最モ必要ナリト思ヒマスカラ、大體ニ於テ總理大臣ヨリ其御計畫ヲ、具體的ニ決ッテ居ルナラバ、具體的ノ御話ヲ一應御伺シタイ

○齋藤國務大臣 御說ノ如ク米ハ農村ニ對シテ、又國家トシテ重大ナル問題デアリマスカラ、現内閣ハ申スニ及バズ、前内閣ヨリ既ニ計畫ヲ立テマシテ、計畫ト云フノハ調査スベキ計畫ヲ立テマシテ、既ニ御協賛ヲ經マシテ米穀部ト云フモノヲ設置スルコトニナッタノデアリマス、ソレニ依ッテ根本的ノ計畫ヲ樹立スルコトニ今著手致シテ居ルノデアリマス、豫定ハ二ヶ年ノ計畫ニナッテ居ルサウデアリマスガ、私ハソレヲ急ガセマシテ、モット急イデ計畫ヲ立テサセルヤウニ致シタイト思ヒマシテ、主務大臣ニモ相談致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、要領ハ主務大臣ヨリ申上ゲタコト、思ヒマシ、私ハ其點ニ付テ深く申上ゲル材料ヲ有ッテ居リマセヌカラ、左様御承知ヲ願ヒマシテ、私ノ心持ト致シマシテハ出來得ベクベバ次ノ議會ニ凡ソノ考ヲ立テ、皆サンノ前ニ出シタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○寺田委員 政府ニ於テハ米ニ對スル根本對策ヲ成ベク早く樹立シタイ、サウシテ農村ノ今日ノ窺乏ヲ匡救シテヤリタイト云フ御趣旨ノアルコトハ能ク了承致シマシタ、唯只今ノ總理大臣ノ御話デハ、現在ニ於テハ別段斯ウ云フコトヲシテ見タイト云フヤウナ計畫、若クハ腹案ト云フモノモオアリニナラナクテ、米穀部ト云フモノヲ設ケテ、是カラ慎重ニ審議シテ根本策ヲ立テヤウト云フ御趣旨デイラシヤイマスカ、ソレトモソコニ多少ノ御計畫トカ、御見込トカ、ゴザイマスナラバ、ソレヲ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

トニナッタノデアリマス、ソレニ依ッテ根本的ノ計畫ヲ樹立スルコトニ今著手致シテ居ルノデアリマス、豫定ハ二ヶ年ノ計畫ニナッテ居ルサウデアリマスガ、私ハソレヲ急ガセマシテ、モット急イデ計畫ヲ立テサセルヤウニ致シタイト思ヒマシテ、主務大臣ニモ相談致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、要領ハ主務大臣ヨリ申上ゲタコト、思ヒマシ、私ハ其點ニ付テ深く申上ゲル材料ヲ有ッテ居リマセヌカラ、左様御承知ヲ願ヒマシテ、私ノ心持ト致シマシテハ出來得ベクベバ次ノ議會ニ凡ソノ考ヲ立テ、皆サンノ前ニ出シタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○齋藤國務大臣 年來農林省ニ於テ考究セラレテ居ル問題トシテハアルノデアリマス、ソレハ各種ノモノガアリマスガ、私ハマダ詳シクハ聽イテ居リマセヌケレドモ、色々ノ問題ガ既ニ起ッテ居ルト思ヒマス、併シソレニ付テドレヲドウ致スト云フコトヲ、私ガ局外カラ、今マダ承ッテ居ラヌ内ニ申スコトハ出來ナイト思ヒマス、又斯様ナ問題ヲ腹案ガアルカラト申シテ私ノヤウナ分ラヌ者ガ言ッテモ何ニモナラヌノデアリマス、ソレノノ専門家モアルノデ、ソレヲ集メマシテ折角研究ニ從事サセテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○寺田委員 大體了承出來ヤウト思ヒマスケレドモ、年來農林省ニ於テ多少ノ計畫ヤ腹案ガアルノデアリマス、ソレヲ立テ、來タ上ニ於テ現内閣トシテノ根本對策ヲ茲ニ決定シヤウト云フ御趣旨ノヤウニ伺ヒマシタガ、矢張其原案ト云フカ、腹案ト云フカ、ソレヲ一切農林省ノ米穀部ニ御委セニナリ、米穀部カラ出來タモノヲ現内閣デ最後ニ御決定ニナルト云フ御趣旨ト承ッテ宜シウゴザイマスカ

○齋藤國務大臣 是ハ米穀部獨特ノコトバカリトハ私ハ信ジマセヌ、斯ウ云フ重大ナル問題デアリマスカラ、農林省ニ於キマシ

テハ廣ク意見モ徴シ、考究ヲ致ス次第デア
リマス、研究所ト致シマシテハ米穀部デヤ
リマス、其研究致シマシタモノヲ、吾々ノ
所ヘ持ッテ來ル順序デアルト考ヘテ居リマ
ス

○寺田委員 此米ノ問題ハ農村ノ一番重要
ナル問題デアリマス、又全國民ノ六割ヲ占
メテ居ル農民ノ最モ大切ナル問題デアリマ
ス、更ニ日本國民ノ主要食料品ト云フ重大
ナル問題デアリマス、是ハ無論農林省ダケ
デ解決ガ付キマセウシ、又米穀部ダケデモ
相當ノ原案ハ作製出來マセウト思ヒマス
ガ、モウ少シ大キク取扱ッテ、所謂衆智ヲ集
メテ根本的對策ヲ決定スルト云フ御趣旨ノ
下ニ、現内閣ニ於テハ何等カ廣ク有ユル方
面ノ人材ヲ網羅シテ根本對策ヲ決メルト云
フ御考、御心持ハ現在オアリニナリマセヌ
カ

○齋藤國務大臣 是ハ主トシテ米穀部ニ於
テヤルコトニナッテ居リマスガ、今ノ御話ノ
ヤウニ知識經驗ノアル人ノ意見ハ廣ク求メ
ルコト、信ジテ居リマス

○東委員長 委員長トシテ一寸御同致シマ
スガ、只今ノ御答辯ニ依ルト、根本策ハ成
ベク次ノ通常議會ニ提案スルヤウニ致シタ
イト云フ總理大臣ノ御腹案ノヤウデアリマ

スガ、是ハ必ず通常議會マデニ提案スルト
云フ確信ノ下ニ御辯明ニナッタコトデアリ
マスカ、或ハ通常議會ニ成ベク間ニ合ハセ
タイト云フヤウナ尋常有リ觸レタ御考デア
ルカ、其信念ヲ一寸御同致シタイ

○齋藤國務大臣 勿論重要ナル問題デアリ
マスカラ、唯宜イ加減ノモノデ決メル譯ニ
行カスト思フノデアリマス、ソレ故ニ二年
ト云フ豫定ヲ致シテ居ルサウデアリマス、
唯私ノ希望ト致シマシテハ次ノ議會ト云フ
コトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、左様御
承知ヲ願ヒマス

○東委員長 ソレデハ大體御趣意ノアル所
ハ分リマシタガ、總理大臣トシテ通常議會
マデニハ必ず間ニ合ハセタイト云フ固イ信
念ヲ持ッテ居ルト云フコトニ承知致シテ宜
シウゴザイマスカ

○齋藤國務大臣 左様ニ考ヘテ居リマス

○松山委員 大體分ッタヤウデ分ラナイ點
ガアルノデ、モウ一寸御同致シタイノデア
リマスガ、先程主務大臣ヨリ要領ヲ話シテ
居ラレタガト云フ御話デアリマスガ、主務
大臣ヨリ聽イテ居ラナイノデス、根本對策
ハ考ヘテ居ルト云フコトダケハ聽キマシ
タ、今其根本策ト云フコトヲモウ一寸突込
ンデ御聽キスルノデスガ、米穀專賣法案ダ

ト理解シテ宜シイノデアリマスカ
○齋藤國務大臣 ソレモ一寸ノ問題ダト思
ヒマス、併シソシナ事バカリデナク、現在
米ニ對スル色々ナ取扱法ヲ致シテ居ルト云
フヤウナコトモ段々改メナケレバナラヌト
云フ考ヲ持ッテ居リマス、サウ云フ事ヲ今度
ハ根本的ニ決メラルベキモノダト考ヘテ居
ルノデアリマス

○河野委員 甚ダ失禮デスガ、總理大臣ハ
現在ノ米價ヲ以テ全農民ハ満足シテ居ルト
思召スノデスカ、如何デスカ

○齋藤國務大臣 満足シテ居ル居ラスト云
フコトハ、豫テ世間デ米價ハ安クテ困ルト
云フコトヲ言ハレテ居ッタ、ソレハ承知致シ
テ居リマスガ、又一般的ニ言フト米價ガ他
ノ物ヨリカ物價トシテハ下ッテ居ラヌ、斯ウ
云フ說モアルノデアリマス、ソレハ色々他
ニモアリマセウガ、要スルニ今日米價ト云
フモノハ法律ニ於テ一寸ノ標準ガ決ッテ居
リマス、ソレヲ標準トシテ今日ハ價格ガ決ッ
テ居ル譯ニナリマス、左様ニ私共ハ信ジテ
居リマスガ、是ガ安過ギルトカ、高過ギル
トカ云フコトニ付テハ、一寸私ハ明言ハ出
來兼ネマス

○河野委員 ソレハ甚ダ以テ満足出來ヌノ
デアリマス、法律ヲ以テ決メテアルカラ、

其基準ニ依ッテヤラレルコトデ已ムヲ得ナ
イ、法律自體ガ現在ノ農村ノ事情ニ即シテ
妥當ナリヤ否ヤト云フコトハ重大ナル問題
デアリマス、其法律ヲ以テ規定シテアル價
格ガ現在ノ農村ニ對シテ妥當ナリヤ否ヤト
云フコトニ對シテ、總理大臣ハ御考ニナリ
マセヌカ

○齋藤國務大臣 ソレハ今日行ハレテ居ル
法律ヲ正當ナルモノトシテ取扱ッテ居ルノ
デアリマス、ソレヲ今私ガ不可ナリト言フタ
カラガドウスルコトモ出來ナイ、決ッタモノ
デアル、ソレデ市價トシマシテノ高下論ハ
色々アルダラウト思ヒマス、其點ニ付キマ
シテハ私共何等自分ノ意見ガアル譯デハア
リマセヌ、安イト云フコトニ付テノ說モ澤
山承ッテ居リマスカラ、何トカシテ高クナ
タ方ガ農家ノ爲ニハ宜イト思ッテ居リマス
ガ、是亦何トモ致方ガナイ

○河野委員 一國ノ總理大臣ガ現在ノ米價
ガ安イヤウデアアル、農民ガ高クシテ呉レト
云フコトヲ要望シテ居ルト云フコトヲ認メ
テ居リナガラ、法律ハ總理大臣並政府ガ之
ヲ變ヘル意思ガアレバ之ヲ議會ニ提案シ
テ變ヘルバ立派ニ變ヘラレル、其手續ヲ取
ラズシテ、法律ニ規定シテアルカラ如何ト
モ致方ガナイト云フコトハ何ト云フ御答辯

デアリマス

○齋藤國務大臣 ソレハ今日ハ今日ノ法律

ニ依ッテヤテ居ルノデアリマスカラ、是ハ
マダ改正スル意思ガナイノデアリマス、其
様ナ根本的ノ事ヲ今度ハ遺憾ナク調査シマ
シテ、宜イ加減ノコトデナク本當ノモノニ
シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリ
マス

○河野委員

私ガ申シマスノハ、齋藤總理

大臣ハ時局ガ非常時デアルカラ、御出馬ニ
ナッタモノデハナイカ、悠長ナ時代ナラ總理
ハマサカニ御出馬ニナラウトハ考ヘス、非
常ニ時局ハ重大デアル、切迫デアルト云フ
コトカラ總理大臣ニ御出馬ヲ願ッタノデア
テ、而モ農村ハ窮迫シテ居ルカラ此臨時議
會ガ招集サレタノデアリマス、其時ニ當ッ
テ、サウ云フ問題ハ能ク考慮シテトカ云フ
コトハ全ク履違ヘテ居ル、根本的ノ專賣法
ヲドウスル、公定價格ヲ決メルトカ、決メ
ストカト云フ問題ハ、問題ナラ問題デ宜シ
ウゴザイマス、立法ノ建前ニ於テ今ノ米價
ガ安クテ立行カヌト云フコトヲ御認定ニナ
ルナラバ、立派ニ之ヲ改正シテ應急ノ對策
ガアル筈デアリマス、而モ政府ハ現在ノ米
穀ノ應急對策ノ法案ヲ出シテ居ルデハアリ
マセヌカ、一方ニ於テ應急對策ノ案ヲ出シ

ナガラ米ノ値段ハ安イ、モット高クト云フ要

望ガアルト云フコトヲ認メテ居ラレナガ
ラ、法律ガアルカラ致方ガナイト云フ御答
辯ハ承服出來マセヌカラ、更ニ御答辯ヲ願
ヒマス

○齋藤國務大臣

米價對策ニ付キマシテ

ハ、應急對策トシテ之ニ提案ヲシテ居ルノ
デアリマス、是ハ先刻申上ゲマシタ通り
成ベク早く根本的ノ調ベヲ終ッテ、遺憾ナイ
コトヲ次ノ議會ニト云フコトガ私ノ希望テ
アルノデアリマス、直チニ此處デ法律ヲド
ウスル、斯ウスルト云フコトハ中々困難ナ
コトデ、出來ナイコトデアリマス、根本策
ニ讓ッテ成ベク早く之ヲヤリタイと思ヒマ
ス

○深水委員

私モ一寸總理大臣ニ伺ヒタイ

ノデアリマス、米ノ問題ハ申上ゲルマデモ
ナク非常ニ高ケレバ生産者ハ喜ブケレド
モ、消費者ハ非常ニ困ル、併シ現在ニ於テ
ハ非常ニ米ガ安イ爲ニ生産者ガ苦ンデ居
ル、其爲ニ茲ニ應急對策モ出テ居ルシ、率
勢米價モ取除ケテ政府ニウント應急策ヲ
ヤッテ貰フト云フ論モ出テ居ル、併シ是ハ
應急策デアル、根本トシテ政友會ノ諸君ハ
米專賣法ヲ今日ハ議會ニ出シテ居ラレル、
米專賣ヲヤラレルト云フノハ、詰リ米ノ高

下ガ既ニアッテ、一般ニ動搖シテ生産者モ苦

シム、場合ニ依ッテハ需要者モ苦シム、ソコ
デ專賣法ニ依ッテキチット決メテ安全ニ行カ
ウト云フ御趣旨ト思フ、然ルニ百尺竿頭一
歩ヲ進メテ其上ニ土地國有ト云フ問題ガア
ル、ソレデ此米專賣デ果シテ宜イカ、或ハ
更ニ土地國有ト云フコトニ依ッテ米ニ付テ
統制シテシマッテ、國家ガ自由ニ不公平ナク
總テノ人ノ生活ヲ安定サセルト云フ方法モ
アル、先刻ノ米ニ對スル調査部ト云フモノ
ヲ御設ケニナッテ二箇年ヲ期シテオヤリニ
ナリツ、アルト言フガ、來ルベキ議會ニハ
何カ提案スル意思ガアルト云フ總理大臣ノ
思召デアリマス、其中ニ土地國有ト云フ
コトニ付テ何カ御研究ハナイデセウカ、土
地國有ヲ御研究ノ中ニ入レテアルカ、ナイ
カト云フコトヲ御伺致シマス

○齋藤國務大臣

只今ノ所ハ土地國有ノ問

題ハ起ッテ居ラヌト思ヒマス

○深水委員

ソレデハ只今ハ米ノ專賣若

クハ他ニ何カノ方法ヲ御探シニナルト言フ
ノカ、或ハ政府ハ現在ニ於ケル所ノ米穀法
ニ依ッテ其操縦ノ方法ニ付テノ御研究ト云
フノデアリマス

○齋藤國務大臣

詰リソレ等ヲ研究シマシ

テ決定シタイト云フノデアリマス

○松山委員

新聞ノ傳フル所ニ依リマス

ト、率勢米價ト云フコトニ付キマシテ、内
閣ノ中ニモ意見ガ區々ニ分レテ居ルヤウニ
聞イテ居ルノデアリマス、此委員會ニ於キ
マシテモ、一番ニ政友會ノ主張ト農林當局
ノ主張ト、正面衝突ヲ致シテ居ルノハ此點
デアリマス、即チ政友會ハ率勢米價ノ條項
ヲ削除シヨウ、農林當局ハ何處マデモ之
ヲ保持シヨウ、新聞ノ傳フル所ニ依レバ、
農林大臣ハ職ヲ賭シテマデ此問題ニ付テ爭
フト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、是
ガ今期議會ノ非常ナル紛糾ノ種ニナッテ居
ルヤウニ思フノデアリマス、私共想像致シ
マスノニ、閣内ニ於テモ議論ガ岐レテ、結
局總理大臣ガ農林大臣ニ諒解ヲ求メルト言
ヒマス、サウ云フ話ニナルノデヤナイカ
ト思ヒマス、少シク私ハ部分的ニ涉リ
マスケレドモ、ドウカ此ノ問題ニ付テ、總理
大臣ニ私共ノ主張ヲ聽イテ置イテ戴キタイ
ト思フノデゴザイマス、吾々議員ノ中カラ
ノ質問ハ、生産費ダケヲ標準トシテ米ノ最
低價格ノ判斷ヲシテモ宜イデヤナイカ、何
ガ故ニ率勢米價ト云フモノヲ判斷ノ要素ニ
入レナケレバナラヌカト云フコトヲ聞クノ
ニ對シテ、農林大臣ハ斯ウ言ハレル、物價
指數ノ動キト云フコトヲ考慮ニ入レル爲

ニ、此率勢米價ト云フモノヲ考ノ中ニ入レル必要ガアルト言ハレル、ソコデ私共ノ農林大臣ニ對スル問ハ、今日米ノ最低價格トシテ米ノ買ノ發動ヲシヨウトスル時ニ、ソレガ何ニ依ッテ決定サレテ居ルカト言ヘバ、率勢米價ノ二割下、此率勢米價ト云フモノハ何カラ算定スルカト云フト、此法律ニ依ルト當リ前ナラバ、昨年ノ十一月ノ日本銀行ノ物價指數ヲ——唯今年ハ特別ノ經濟界ノ變動ト云フコトデ前内閣ノ時、四月ニソレヲ改算シマシタ、即チ是ハ三月ニ於ケル物價指數ニ今拘束サレル譯デアリマス、今日非常ナ物價ノ動キ、殊ニ爲替相場ノ下落ノ爲ニ物價指數ガ變動シテ行キツツアル其時ニ、今日ノ米ノ買ノ發動ガ普通ナラバ昨年ノ十一月、或ハ今年ノ三月ノ物價指數ニ抑ヘラレルト云フコトハ却テ困リハシナイカ、ソレハ此法律ノ規定ガアルカラサウナルデアリマセウケレドモ、若シ此率勢米價ノ規定ガナイナラバ、今日ノ物價指數ニ依ッテ判斷スルコトモ自由ヂヤナイカト云フコトヲ、私共ハ主張致シテ居ルノデアリマス、モウ一ツハ今度若シ物價ガ非常ニ騰テ賣發動ニ行ク時ニ、其生計費ト云フモノハ何デ決マルカト言ヘバ、是ハ矢張昨年ノ十一月、或ハ今年三月末ノ物價指數ト云フ

モノカラ算定シタ生計費ニ依ッテ米ノ賣ガ始マルト云フノデハ農家ガ損ヲスル、即チ今日ノ物價指數ニ依ッテ賣ヒタイ、ソレガ法律ニ依レバ昨年ノ十一月ト規定サレテ居ルノデ非常ニ困ルコトガアル、物價指數ヲ參考ニスルト云フノニハ、率勢米價ノ規定ガナイ方ガ宜イヂヤナイカ、私共ノ主張ハソレデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、率勢米價ト云フモノガ標準米價、即チ明治三十三年十月ニ於ケル米價十一圓三十一錢ト云フモノト、サウシテ日本銀行デ決メタ物價指數ト、ソレカラ米價率ノ趨勢値ト稱スル率デアリマス、其三ツノ積——其米價率ノ趨勢値ト云フモノハ是ハ面倒ナモノデアリマスガ、今日ノ米價指數ヲ物價指數デ割ッタモノヲ米價率ト稱スル、其米價率ト云フモノニ最小自乘法ト云フ數學ヲ適用シテ、之ヲ出シテ居ルノデゴザイマス、所ガ是ハ昨年ノ議會ニ於テモ論議シ、昨日モ農林大臣ニ能ク申上ゲタノデアリマスガ、元來最小自乘法ト云フ學說ハ、例ヘバ東京驛ノ或ル一點ヲ測量シテ計ル時ニ、眼ノ錯覺、或ハ機械ノ錯誤、ソレカラ溫度ノ關係、空氣ノ濃度デ光線ガ屈折スルト云フ關係デ、精密ナ測量ヲスレバ百回ナラバ百回共ニ違フ、其極ク微細ナ誤差ヲ修正スル爲ニ拵ヘ

ラレタ一ツノ學說デアリマス、此米價ノヤウナ非常ニ動キノ激シイ、時ニハ二倍モ一倍半ニモナルヤウナ、斯ウ云フ大キナ誤差、誤差デハナイ、サウ云フヤウナ大キナ動キヲ修正スル爲ニ作ッタ學說デハナイノデ、之ヲ適用スルト云フコトハ學說上、學理上何等根據ガナイ、唯ソレヲ適用シテ一ツノ公式ヲ拵ヘルナラバ、取扱上便利デアル、故ニソレガ實際ニ適合スルナラバ、サウ云フ一ツノ公式ヲ使フガ便利デアリマスカラ、通常學者ハ之ヲ使ヒタガル、即チ學者ノ責任ヲ明ニスルガ爲ニソレヲ作ッタ學者ノ名ヲ表ハシテ、ソレヲ井口博士ガヤッタナラバ井口ノ公式、「ランキン」ガヤッタナラバ「ランキン」ノ公式ト云フヤウニ其名ヲ表ハシテ實驗的法則ト云フモノヲ作ル、其實驗的法則ト云フモノハ、米價ハ斯クアラネバナラスト云フ權威ノアルモノヂヤナイ、ソレガ實際ニ適合スル場合ニ、ソレヲ使フコトガ便利デアルト云フ時ニ使フ性質ノモノデアリマス、ソレハ學理上何等ノ根據ノナイモノデアル、却テ實際上是ガ適合シナイト云フコトヲ昨年來私共ハ強く論ジタノデアリマスガ、昨日モ此事ニ付テ實例ヲ舉ゲタ、其一例ヲ申上ゲマス、政府カラ私共ニ與ヘラレテ居ル昭和六年度ノ生産費

ト云フモノハ平均二十圓十一錢ニナッテ居ル、此生産費ト云フモノガ、農家ガ米ヲ賣ルニ耐ヘ得ル最大限デアルベキ筈デアル、ソレヨリ下ニ置カレテハ農家ハ損ヲスル、最大限デアルベキ筈デス、然ルニ率勢米價ノ二割下ト云フコトデ、昨年ノ十一月ニ決メタモノハ十六圓何ボデアル、本年ノ四月ニ決メタモノハ十七圓何ボデアル、三圓四十錢ソレヨリ下ニ買ハレルコトニナッテ居ル、即チ生産費ヨリモ三圓四十錢下ニ米ヲ買ハレル、ソレデナケレバ買發動ガ起ラナイコトニナッテ居ル、私共ガ昨年主張シタ如ク實際ニ不都合ナモノデアルコトハ是デモ明カデアリマス、ソレ故ニ率勢米價ハ學理上何等ノ根據ガナイ、又實際上ニ於テモ適合シナイモノデアル、之ヲ私共ハ昨年強く主張シタノデアリマシテ、相當ニ此事ニ付テハ其當時ノ農林大臣、其當時ノ政府當局ガ皆承認シテ居ル、唯民政黨ガ多數デ無理押シニ之ヲ押シタノデアリマス、デアリマスカラ、昨日モ申シマシタガ、民政黨ガ少數黨ニナレバ當然破ラルベキ運命ニアル所ノ規定デアル、無論吾々ハ率勢米價ヲ使ッテハイカナイト言フノデハナイ、斯ウ云フ規定ガナイナラバ、今申シタ物價指數ノ動キヲ參考ニシタイナラバ、物價指數ハ昨年

ノ十一月、今年ノ三月ト云フ規定ヲ抑ヘル必要ハナイ、今日ノ物價指數ヲ參考ニスレバ宜イ、又率勢米價ヲ參考ニ致スナラバ、率勢米價ノ動キヲ標準ニシテ計算シテモ宜シイト思ヒマスガ、ソレハ政府ノ手心デヤツテ宜イ、斯ウ云フ法律ノ規定アルガ故ニ、其自由裁量ガ妨ゲラレルト云フコトニナル、此事ガ却テ政府ガ今目的トシテ居ル所ヲ行フノニ不都合デアル、私共ハ寧ロサウ云フ規定ハ削除シタ方ガ宜イデハナイカト云フコトヲ昨日モ農林大臣ニ申上ゲタ次第デアリマス、此事ガ今期議會ニ於ケル政府ト議會トノ衝突ノ重大ナル一ツノ要點ニナツテ居リマス、此事ヲ總理大臣ノ御耳ニ入レテ置キタイト思フノデアリマス

○三善委員 總理大臣ガ御出席ニナツテ居リマスガ故ニ、總理大臣ニ聽イテ戴イテ、更ニ總理大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、私共ハ數日來ニ涉リマシテ此議場ニ於キマシテ、屢々農林大臣ニ伺ッタノデアリマスケレドモ、唯同ジ事ヲ繰返スノミデアツテ、サウシテ茲ニ纏ッタ所ノ結論ニ達シテ居ナイノデアリマス、ソレデ私共ハ今マデ農林大臣ト質問應答シタ其要點ニ付テ茲ニ申上ゲマシテ、總理大臣ノ御判斷ヲ仰ギ、又總理大臣ノ所見ヲ伺ヒ、サウシテ

私共モ意見ヲ決シタイト思フノデアリマス、米穀法ノ根本的改正ノ必要ガアルコトハ、只今總理大臣ガ述べラレタ通りデアリマス、サウシテ是ガ成ベク速ニ次ノ議會ニデモ提出セラレルヤウニナルナラバ洵ニ幸ナリト信ズル者デアリマス、然ルニ吾々ハ此米穀法ノ根本的改正ヲ俟ツマデモナク、應急對策トシテ、時局匡救ノ對策トシテ一日モ速ニ農村ニ對シテ農村生活ノ安定ヲ圖ルヤウニシナケレバナラヌ、今日ノ米價ガ何レノ方面カラ考ヘマシテモ相當ノ値下リナシテ居ル、之ヲ相當ナ程度マデ引上ゲンケレバナラヌト云フノハ、是ハ殆ド國民一致ノ要望デハナイカ、之ニ對スル匡救ヲ如何ニスルカト云フノガ、今日ノ最も必要ナル事デアラウト思フノデアリマス、然ルニ政府ハ今期議會ニ於テ臺灣米ノ買上及粟ノ輸入稅増減又ハ免除、米穀貯藏助成施設ニ對シテノ獎勵金ノ交付、斯ウ云フヤウナモノヲ御出シニナリ、是デ以テ果シテ現在ノ米價ヲ相當ノ値段マデ引上ゲ、又農村生活ノ安定ヲ圖リ、サウシテ農村ニ安心シテ米ヲ作ラセ得ルト云フ確信ガアラレルノデアアルカ、此點モ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

更ニ進ミマシテ私ハ米穀特別會計ノ資金增加ノ事ニ付テ考ヘテ見マスルト、今期議會ニ於キマシテ最初ハ一億圓ノ増加ニナリ、更ニ三千萬圓追加ニナリマシテ、一億三千萬圓ノ資金増加ニナツテ居ルノデアリマス、此資金ノ増加ト云フコトハ吾々ノ希望スル所デアツテ、吾々ハソレ以上ノ資金ヲ必要トスルニアラズヤト考ヘルノデアリマス、併ナガラ現在ノ米穀特別會計資金ノ増加ニ依ッテ米ヲ買上ゲ、サウシテ米ノ値段ヲ引上ゲヨウトシマシテモ、實際ニ方リマシテハ茲ニ率勢米價ト云フモノガアルガ爲ニ、資金ハ幾ラアリマシテモ之ヲ運用スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ事實ニ逢著シテ參ルト思フノデアリマス、此點ガ私共ガ一番心配致ス點デアリマシテ、所謂率勢米價ノ廢止ヲ唱フル所以デアアルノデアリマス、如何ニ資金ヲ豊富ニ持チマシテモ、今日ノ率勢米價ガアル以上ハ、米ヲ買上ゲルコトハ出來ナイト云フコトガ、吾々ガ心配シ、又ソレガ爲ニ此率勢米價ヲ廢止シナケレバナラヌト云フコトヲ強ク唱フル所以デアリマス、農林大臣ガ斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマス、米價ハ少クトモ其生産費ヲ保タシメルコトガ必要デアル、是ハ私共ト意見チ一ニシテ居リマス、是ハ恐ラク總理モ米價ヲ少クトモ生産費マデハ保タシメルト云フコト

ハ、農林大臣ト同ジ考デアラレルト思ヒマス、是ハ又サウナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、然ラバ私共ハ如何ニシテ此生産費ヲ保タシメルカ、農村ノ生産費、所謂米價ヲ下ノ程度ニ置イタナラバ宜イカト云フコトガ結論ニナツテ參ルト思フノデアリマス、此事カラ考ヘテ見マスルト、政府ハ是ガ爲ニ從來ノ率勢米價ニハ生産費ガ加味シテナカッタ、來年度ハ此生産費ヲ加味スルカラ、之ヲ唯一ノ政府ノ頼リトシテ、率勢米價ヲ定メテ、以テ米穀法ノ發動ニ支障ガナイヤウニスル、斯様ニ考ヘテ居ラレルヤウデアリマス、是ガ政府ガ率勢米價ト云フモノヲ楯ニ取ッテ、來年ノ生産費ノ價格ヲ相當ニ率勢米價ノ上ニ按排スルカラ、之ヲ以テ相當ニ率勢米價ノ下値ニ割ト云フコトガ定マルダラウ、是ガ唯一ノ頼リデアアルヤウデアリマス、其頼リトセラレルノガ抑、間違デアル、是ハ非常ナ間違デアリマス、即チ其間違ノ點ヲ指摘シテ見マスルト、米穀法ノ施行令第三條ニ依リマシテ、最低價格ト云フモノハ米穀ノ生産費ト、率勢米價ノ下値ニ割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ適當ト認ムル價格ニ依テ之ヲ定メルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレダカラ少クトモ米價ハ生産費——此下値

二割ト云フノハ生産費以上ニハナラナイノデアリマス、今日ノ情勢ニ於テハ生産費以上ニハナラナイト云フコトハ、是ハモウ數字ニ依ッテ明カニサレルト思フノデアリマス、私ハ百歩之ヲ譲ッテ、政府ノ定メラレル最低價格ト云フモノガ生産費ト同様ニ定メラレタトシテ考ヘテ見レバ、幸ニ茲ニ民政黨ノ農政懇談會カラ發表ニナッテ居ルモノガアルカラ、此數字ニ付テ申シタ方ガ御分リニナルト思フ、民政黨ノ方デハ斯ウ言ッテ居ルヤウデアリマス、牽勢米價ノ下値ニ割ガ十八圓デアッテ、生産費ガ二十二圓デア、其時分ニ政府ガ牽勢米價ノ下値ニ割ト生産費トノ間ニ於テ適當ノ價格ヲ定メル、ソレダカラサウ心配スル事ハナイト云フノガ民政黨ノ立論ノ建前ノヤウデアリマス、百歩譲ッテ政府ガ最低價格トシテ二十二圓ヲ採ッタトスル、最低價格二十二圓、所謂生産費同様デア、斯ウ云フ風ニ考ヘテ見マス、其場合ニ政府ガ米ヲ買上ゲルノハ、ドウ云フ時分ニ買上ゲルカト云フト、市場ノ値段ガ二十二圓以下ニナッタ時ニ初メテ買上ゲラレルノデア、斯ウ云フ規定ニナッテ居、然ルニ茲ニ私共ガ看過スコトノ出来ナイノハ、市場ノ價格ト農家ノ庭先相場ト云フモノトハ一石二圓ノ違ヒガアル、是

ハ政府委員ノ前ニ説明セラレタ通りデアッテ、此二圓ト云フモノハ多少ノ動キハアツテモ、恐ラク動カスコトノ出来ナイ標準ニナッテ參ルト思ヒマス、サウスルト市場ノ價格ヨリ農家ノ庭先相場ハ二圓安イ、市場ノ價格ガ二十二圓スル時ハ農家ノ庭先價格ハ二十圓ニナッテ、即チ生産費ヲ割ルコト一石二圓デア、生産費ハ二十二圓掛ッテ居ルニ拘ラズ、農家ノ庭先相場ハ二十圓ニナラナケレバ米穀法ノ發動ガ出来ズシテ、米ノ買上ガ出来ナイ、斯ウ云フ結果ニナル、是ニ於テ政府ガ生産費ヲ維持シタイト言ハレル目的ハ矛盾撞著シテ參ルノデアリマス、是ハ數字ニ依ッテ明カニナルノデアリマスガ故ニ、此點ハドウシテモ政府ガ反對セラレル譯ニ行カナイト思ヒマス、此點カラ考ヘマシテモ、如何ニ牽勢米價ガ今日ノ實情ニ照シテ不都合デア、ルカト云フコトハ、明カニサレテ參ッタヤウニ考ヘルノデアリマス、此點ハ若シサウデナイト云フ御考ガアルナラバ、政府當局、總理以外ノ人カラデモ御答下サツテ、宜シイノデアリマス、私ノ立論ノ根據ハ決シテ誤ッテ居ナイノデアリマス、此一點ダケデモ既ニ牽勢米價ガ如何ニ不都合デア、ルカト云フコトハ數字ノ上ニ於テ爭フコトガ出来ナイノデアリマス

ガ故ニ、總理大臣ハ之ニ對シテ如何ナル考ヲ持ッテ居ラレルカ、時局匡救ノ任ニ當ル際ニ於テ、斯様ニ不都合ナルモノガアッタナラバ廢シタラ宜クハナイカ、其點ニ付テハッキリシタ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、尙ホモウ一ツ御尋ヲ致シマス、殊ニ私共ガ最モ心配シテ居ルノハ、此出来秋ノ米ノ相場デアリマス、此出来秋ニハ必ズ米ガ殺到致シテ參リマス、又今ノ所デハ今年ハ米ハ相當豐作ダラウト考ヘルノデアリマス、斯様ナ時ニ方リマシテ、私共ハ此出来秋ノ相場ヲドウ云フ風ニ保ッテ行クカト云フコトハ、最モ眞剣ニ考ヘナケレバナラヌ、是ガ所謂中小ノ農民ヲ救フ唯一ノ方法デア、ルト思フノデアリマス、然ルニ拘ラズ、政府ノ頼リトセラレレルノハ、生産費ガ十二月十日頃分ルカラ、此生産費ガ分ッテカラ徐徐ニ考ヘテ政府ノ牽勢米價ヲ定メテ、サウシテ買上ゲレバ遅クナイ、斯ウ云フヤウナ考デ居ラレルノデアリマス、米ノ出廻ト云フモノハ十一月カラ十二月ト云フノガ一番多イノデス、其一番多イ、而モ地方農村ノ中小ノ農業者ハ矢張此十一月十二月ニ掛ケテ販賣致スノデアリマス、此大切ナル時期ニ當ッテ米穀ノ買上ガ出来ナイト云フ

ヤウナコトニナッテ參リマス、是ハ農村ハ此内閣ニ對シテ悲憤慷慨シテ參ルト私ハ思フノデアリマス、是ガ私共ハドウシテモ牽勢米價ヲ一日モ速ニ廢止セヌケレバナラヌト云フ信念デア、ルノデアリマス、之ヲ如何ニ考ヘテ居ラレルノデア、ルカ、農林大臣ハ斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレル、米ノ買換ト云フヤウナコトガアルカラ、米ノ買換ニ依ッテ相當緩和スルコトガ出来、ル、斯様ナコトヲ言ッテ居ラレル、是ハ又出鱈目モ甚シイコトデハナイカト私ハ思フノデアリマス、苟モ米ノ買換ト云フモノハ、米ノ價格調節ヲ目的トスルノデハナイノデア、ル、此立法ノ精神ニ反シテ、政府ハ唯買換ト云フ姑息ナ手段ニ依ッテ其場逃レヲサレントスルガ如キハ、洵ニ私ハ不法モ甚シイト思フノデアリマス、唯私ガ茲ニ考ヘマスノハ、牽勢米價ト云フ痛ガアル、此痛ヲ取除ケサヘスレバ何等ノ支障ナク、米價ハ勿論此時局匡救ヲ爲スコトガ出来、農民ノ苦痛ヲモ去ルコトガ出来、ルニ拘ラズ、唯從來ノ行懸カラ斯ウ云フモノニ囚レテ、サウシテ此牽勢米價ト云フコトヲ廢止出来ヌト云フコトハ如何ナル考デア、ルカ、私ハ此牽勢米價ヲ廢止スルト云フコトハ、殆ド大部分ノ意見デア、ルト思ヒマス、恐ラク是ガ議場ニ

出マシタナラバ大多數ヲ以テ通過致シマス、衆議院ハ恐ラク通過致スト思ヒマス、

此通過致シタ所謂國民ノ聲ヲ何ト御考ニナルノデアアルカ、サウ云フ場合ニ政府ハ進シ

デ此國民ノ聲ニ同意セラル、覺悟ガアルカドウカ、此點ヲ御聽致シタイト思フノデア

リマス

○齋藤國務大臣 段々ノ御説ハ拜聽致シマ

シタケレドモ、サウ云フ經緯、所謂細カナ代價等ノ問題ニ付キマシテ、私ハ今日マデ

自分自身デ調査シタノデアリマセヌカラ、的確ニ之ヲ御答スルコトハ出來マセヌ、是

ハ主管大臣ニ讓ルヨリ外アリマセヌ、其御説ニ對スル可否ハ私ガ此處デ申ス譯ニ行キ

マセヌカラ——ソレカラ最後ニ、議會ニ於テ是ガ決議セラレタ時分ニドウスルカト云

フコトノ御話デアリマスガ、ソレハモウ其時ノ機會ニ於テ決心スルヨリ外ナイノデア

リマス、今此處デ私ガ豫言致ス譯ニ行カヌノデアリマス

○三善委員 私ハ總理ノ大體ノ方針ヲ聽イ

タノデアリマスガ、此大體ノ方針ガナクテハ、時局匡救ニ對シテ總理ハ餘リ不親切デ

ハナイカ

○齋藤國務大臣 ソレハモウ今申シマシタ

居リマスカラ、ドウゾ一ツ主管大臣ノ意見

ハ私ノ意見ト變ラヌト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス

○胎中委員 農林大臣ガ見エルマデ退席セ

ズニ此儘休憩シテ居ッタドウデスカ

○東委員 此儘デ十分間バカリ休憩シマ

セウ

午後二時三十分休憩

午後三時四十五分開議

○東委員 ソレデハ是ヨリ開會致シマス

○胎中委員 提出者ノ一人トシテ委員諸君

ニ申上ゲマスガ、米專賣法案、米專賣特別

會計法案竝ニ植民地米統制法案、此場合本

會議デ趣旨ヲ申述ベテアリマスカラ、説明

ヲ省略シマスガ、御進行ヲ願フコトニ致シ

ナルヤウナ御意見モアリ、又邪魔ニナラヌ

ト云フ政府ノ御説明モアッタヤウデアリマ

ス、政府ハ米穀法ノ應急施設ト云フ法律ヲ

出シテイラシヤル、此法律ヲ御出シニナル

時ニ二年ト云フ期間ヲ限ラレタ、是ハ文字

ノ如ク應急對策デ、二年ノ間ニ根本ノ方策

ヲ立テヨウト云フ御方針ノヤウデアリマ

ス、是ハドウ考ヘテモ私共ハ手溫イヤウニ

思ハレル、若シサウ云フ方針デ根本ノ方策

ヲ立テルノガ二年掛ルト云フノデアアルナ

ラ、應急ノ施設デ現在ノ出來秋ニ農民ガ安

心シ得ル何カ方法ヲ御考ニナルノガ適當ト

思フノデアリマス、其方法ヲ何モ御考ガナ

イトハ申シマセヌケレドモ、單ニ米穀ノ買

上ノ資金ヲ殖ヤシタト云フダケデハマダソ

コニ至ラヌノデハナイカ、又率勢米價ヲ適用

ニナル時ニハ、其二割ノ値下リト二割ノ値

上リノ植幅ヲ御標準ニナル、ソレハ一體生

産者デアアル農民ニ對シテドノヤウナ利益ガ

アルカ、私ハ生産者ノ立場カラ考ヘルト百

害アツテ一利ナシ、唯米ヲ商品トシテ取扱フ

商人ガ其植幅ノ間ニ勝負ヲスル、先程米穀

部長カラ面白味ガアルトカ、妙味が存スル

ト云フヤウナ御説明ヲ伺ッタガ、ソナコト

ハ農民ニハ禁物デアリマス、農民ハ妙味モ

何モ考ヘテ居リマセヌ、自分ノ作ル米ガ生

産費ヲ切ッタラ無理ニ賣ラナクテモ宜イ、サ

ウ云フ安心ヲ與ヘル方法ヲ何カ御考ニナル

コトガ農林當局トシテハ當然ノコトダト思

フ、又率勢米價ト云フモノハ何ニスルカ、

ソレガ米價ノ基準デアアル、標準デアルト云

フナラバ、ソレデ米ノ取引ヲシ、ソレデ買ッ

テ宜シイ譯デアアル、所ガ其率勢米價ト云フ

モノハ一向標準ノ働キヲシテ居ラナイ、ソ

レカラ幾ラ下ラナケレバ政府ハ發動シナ

イ、幾ラ上ラナケレバ發動シナイ、サウスル

ト一向基準ヲ示サレタ價值ガナイノデハナ

イカ、要スルニ此政友會カラ御出シニナッ

タ四條五條ノ削除説モソコニ胚胎シテ居ル

ト思フ、又終局ノ目的ハ或ハ專賣ニ行クデア

リマセウ、サウシナケレバ終局ノ目的ハ達

セラレナイ、然レドモソレニ對スル調査、準

備是ハ提案者ニドノヤウナ迅速ナ具體の方

策ガアルノカ、マダ承リマセヌカラ分リマ

セヌガ、是ハ中々一通リヤ二通りノ簡單ナ

コトデ運バレルモノトハ思ヘナイ、之ニ對

スル用意ハ相當ニ御持合セグラウト思フケ

レドモ、サウ云フ終局ノ目的ニ達スルマデ

ニ爲スベキ方法ガアツタノデハナイカ、又

應急對策ノコトヲ政府ガ調査御研究爲サル

中ニ新聞紙上ノ傳フル所ニ依レバ、高橋大

藏大臣ハ國民ノ主要食物デアアル米ノ價格ガ

第六類第四號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)委員會議錄 第四回

始終變化スルコトハ面白クナイト思ヒマス、所謂最低ノ價格ヲ公定スルコトガ宜イデハナイカト云フ御意見ヲ拜聴シテ居ッタ、私モ實ハ其考ヲ有ッテ居ル、最低價格ヲ公定シテ置ケバ生産者モ米ハ是ヨリハ安クナラナイノダ、此程度ニ於テ作レバ宜イノダ、又需要者ニ於テモ大體ノ見當ガ付クダラウト思フ、之ヲ商品化シテ、上リ下リガアラシメヤウトスルノガイケナイ、農林省ノ米穀部、生産者タル農民ヲ擁護スベキ立場ニアル當局トシテハ此幅ヲナクスルヤウ、

御示シニナルコトヲ御考ニナッタクコトガアルカナイカ、是ハ施行令ニ依レバ値下リニ割、値上リニ割ト云フ幅ヲ考ヘテ居ラレルガ、此ニ割ノ幅ヲ撤去スルコトニ付テ御考ニナッタクコトガアルカナイカト云フコトヲ米穀部當局ニ伺ヒマス

ソレカラ政友會ノ提案者ニ、若シ率勢米價即チ米價ノ標準デアル此標準ガ定ッテ居レバ、之ニ依ッテ生産費ヲ加味參酌シテ買入價格ヲ定メテモ、ソレデモ尙ホ四條五條ヲ撤廢シナケレバナラナイカ、若シ此四條五條ヲ撤廢スルナラバ、如何ナル標準ヲ以テ標準價格ニ代ヘベキカト云フコトヲ、如何様ナル根據ニ依ッテ算定ナサル御方針デアルカ、ソレカラ第一條ノ第二項、是ハ政府ノ提案セラレタル米穀應急施設法ノ中ニ修正ヲ加ヘテ足ルト云フ御考ヲ御有チニナリマセヌカ、此點ヲ御尋致シマス

二日頃ニ毎年發表シテ居リマス、其頃ニハマダ生産費ノ調査ガ出來テ居リマセヌ、生産費ハ十二月ノ十日頃ニ調査ガ完了致シマス、ソレヲ用キマシテ率勢米價ノ基準價格ト云フモノヲ決メマスノデアリマスカラ、時ニ食違ガアリマシテ、十一月ノ十一二日、或ハ其一寸後位ニハ直ニ基準價格ヲ作上ゲル云フコトハ困難デアラウト思ヒマス、デ只今ノ植幅ヲ狹メルト云フコトハ私共モ同感ナノデアリマス、實ハ現在ノ米穀法ノ運用ニ當リマシテモ異動ト云フコトハ是ハヤリマセヌガ、其異動變動ト云フコトモ出來ルダケ幅ヲ縮メタイ、斯ウ云フノガ吾々ノ理想トシテ居ル所デアリマス、唯率勢米價ノ上値下値ニ割ト云フコトガアリマス爲ニ、大變ソコニ困ル點ガアルヂヤナイカト云フ一番初ニ申サレタ點ニ付キマシテハ、私ハ妙味ガアルト言ッタガ、妙味ト云フヤウナ言葉ハ取消シテモ差支ナイ、要スルニ率勢米價ハ極ク冷ヤカナモノデ率勢米價デナケレバナラスノデアリマス、從來ノ趨勢カラ割出シタ、極ク冷ヤカナモノデアリマス、ソレニ生産費ト云フモノヲ加味シテ緩和シテ行カウト云フコトニ過ギナイノデス、其限度ニ於テ私共ハ出來ル限り暴騰暴落ト云フヤウナコトナシニ進メテ行カウ、

端的ニ是ガ最低ノ價格デアルト云フコトヲ御示シニナルコトガ、寧ロ農民ヲ安定セシメル唯一ノ方法デアル、而モ是ガ應急對策ノ最大ナルモノデアルト考ヘテ居ル、政友會ノ諸君ガ種々主張セラレルヤウニ、此應急對策ハ二ツヨリナイ、借金ノ始末、米ノ問題、是レ以外ニハアリマセヌ、他ハ全然無用ノ仕事トハ申シマセヌガ、大體此二ツガ目鼻ガ付ケバ世ノ中ハ落付イテ來ルダラウト思ヒマス、其方法トシテ私ハ農林當局ノ米穀部ニ此提案ノ前ニ、高橋藏相ノ仰シヤイマス米ノ最低價格ノ公定ト云フモノヲ御調査御研究ニナッタクコトハナイカドウカ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ米ノ實收豫想ヲ發表ニナル時ニ、此率勢米價ノ標準ヲ

○長瀬政府委員 最低價格ノ公定問題ニ付テ御尋デアリマスガ、私モ之ニ付テハ考ヘタクコトカゴザイマスノミナラズ、實ハ只今モ研究中デアリマス、ソレデ御承知ノ河合良成君ガ丁度はト似タヤウナ一種ノ米價公定案ヲ出シテ居ラレマス、アノ式ノ考方モアリマセウシ、高橋大藏大臣ノ仰セニナッテ居ルヤウナ公定價格ノ定メ方モアラウカ

ト思ヒマス、今私共ノ方ノ一應ノ考トシテ段々立テ、見ヤウカト思ッテ居リマスノハ、無論專賣案ト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、又此公定案ニ關シテモ矢張政府ノ義務賣買、或ル一定ノ値段ガ決レバ、其値段デ賣ッテ來ル者ガアツタナラバ必ズ買ッテヤル、又其値段デ買ヒタイト云フ者ガアツタナラバ必ズ其値段デ賣ッテヤルト云フ、一種ノ義務賣買ト云フモノガナイト十分ナル公定價格ノ維持ト云フコトハ困難デアルガ、ソレヲ豫想シテ參ルト、茲ニ餘程ノ金ガ要ルト云フコトニナリマス、今一ツ此問題ニ關聯シテ幾ラニ公定スベキカ、又生産費ト云フモノガ色々御議論ノアリマシタヤウニ、地方ニ依リ都市ニ依リ銘柄ニ依ッテ色區々ニナッテ居ルノデアリマス、ソレチ一定シヤウト云フノデアリマスカラ、何等カ其間ニ適當ナル緩和方法ガナケレバナラヌ、其點ガ只今ノ公定案ニ對シテ私共十分ニ研究シナケレバナラヌ點デハアルマイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、只今仰セノ最低價格ノ公定ト云フコトニ關シテハ專賣案ト同時ニ研究中デアルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス、實收豫想ノ時ニ率勢米價ガ發表出來ナイカト云フコトデアリマシタガ、第二回收獲豫想ハ大概十一月ノ十一、

始終變化スルコトハ面白クナイト思ヒマス、所謂最低ノ價格ヲ公定スルコトガ宜イデハナイカト云フ御意見ヲ拜聴シテ居ッタ、私モ實ハ其考ヲ有ッテ居ル、最低價格ヲ公定シテ置ケバ生産者モ米ハ是ヨリハ安クナラナイノダ、此程度ニ於テ作レバ宜イノダ、又需要者ニ於テモ大體ノ見當ガ付クダラウト思フ、之ヲ商品化シテ、上リ下リガアラシメヤウトスルノガイケナイ、農林省ノ米穀部、生産者タル農民ヲ擁護スベキ立場ニアル當局トシテハ此幅ヲナクスルヤウ、

御示シニナルコトヲ御考ニナッタクコトガアルカナイカ、是ハ施行令ニ依レバ値下リニ割、値上リニ割ト云フ幅ヲ考ヘテ居ラレルガ、此ニ割ノ幅ヲ撤去スルコトニ付テ御考ニナッタクコトガアルカナイカト云フコトヲ米穀部當局ニ伺ヒマス

ソレカラ政友會ノ提案者ニ、若シ率勢米價即チ米價ノ標準デアル此標準ガ定ッテ居レバ、之ニ依ッテ生産費ヲ加味參酌シテ買入價格ヲ定メテモ、ソレデモ尙ホ四條五條ヲ撤廢シナケレバナラナイカ、若シ此四條五條ヲ撤廢スルナラバ、如何ナル標準ヲ以テ標準價格ニ代ヘベキカト云フコトヲ、如何様ナル根據ニ依ッテ算定ナサル御方針デアルカ、ソレカラ第一條ノ第二項、是ハ政府ノ提案セラレタル米穀應急施設法ノ中ニ修正ヲ加ヘテ足ルト云フ御考ヲ御有チニナリマセヌカ、此點ヲ御尋致シマス

二日頃ニ毎年發表シテ居リマス、其頃ニハマダ生産費ノ調査ガ出來テ居リマセヌ、生産費ハ十二月ノ十日頃ニ調査ガ完了致シマス、ソレヲ用キマシテ率勢米價ノ基準價格ト云フモノヲ決メマスノデアリマスカラ、時ニ食違ガアリマシテ、十一月ノ十一二日、或ハ其一寸後位ニハ直ニ基準價格ヲ作上ゲル云フコトハ困難デアラウト思ヒマス、デ只今ノ植幅ヲ狹メルト云フコトハ私共モ同感ナノデアリマス、實ハ現在ノ米穀法ノ運用ニ當リマシテモ異動ト云フコトハ是ハヤリマセヌガ、其異動變動ト云フコトモ出來ルダケ幅ヲ縮メタイ、斯ウ云フノガ吾々ノ理想トシテ居ル所デアリマス、唯率勢米價ノ上値下値ニ割ト云フコトガアリマス爲ニ、大變ソコニ困ル點ガアルヂヤナイカト云フ一番初ニ申サレタ點ニ付キマシテハ、私ハ妙味ガアルト言ッタガ、妙味ト云フヤウナ言葉ハ取消シテモ差支ナイ、要スルニ率勢米價ハ極ク冷ヤカナモノデ率勢米價デナケレバナラスノデアリマス、從來ノ趨勢カラ割出シタ、極ク冷ヤカナモノデアリマス、ソレニ生産費ト云フモノヲ加味シテ緩和シテ行カウト云フコトニ過ギナイノデス、其限度ニ於テ私共ハ出來ル限り暴騰暴落ト云フヤウナコトナシニ進メテ行カウ、

斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○若宮委員 只今ノ御尋ニ御答ヲ申上ゲマスガ、第一點ハ米穀法中第四條五條ハ削除シテ、偕テ然ラバ何ヲ標準トスルカト云フ御尋デアッタヤウニ記憶致シマス、此事柄ニ付キマシテハ小池君ガ御持ニナル御見解ト、私共ハ全然一致シタ考ヲ持ッテ居ッテ、ソレカラ出發シテ居ルデアリマス、現行ノ率勢米價ニ關スル規定ガ非常ナ妨害物デアッテ、實情ヲ妨ゲルモノデアルト云フコトハ、繰返シ申述ベテ居ルカラ、私ハ只今御答ヲ申上ゲル場合ニ於テハ之ヲ省略シテ繰返シマセヌ、唯段々政府ノ説明セラレル所ヲ靜ニ承ッテ見マシテモ、現行ノ規定ニ依リマスルト云フト、生産費ト云フモノト率勢米價ト云フモノ、間ニハ、事實上ノ開キガアルト云フコトダケハ洵ニ明瞭ニナッタ、デ只今私ガ言ッテ居ルコト及引續イテ申述ベルコトハ、現在ノコトヲ私ハ申シテ居ル、具體的ニ申シテ本年ノ出來秋ノ米、是ノ生産費ヲ定メル、是ノ率勢米價ヲ定メラレルト云フ、此目前ノ必要ニ考ヘテ見マスルト云フト、此二ツノモノ、間ニハ確ニ開キガアルト云フコトダケハ動カスベカラザル事實デアアル、サウシマスト云フト如何ニ

農林當局ガ言葉ヲ多ク費シテ説明セラレマシテモ、現行規定ノ下ニハ米穀法ヲシテ發動セシメ、其效果ヲ舉ゲシメルト云フコトニ付テハ、生産費ヨリ下ニ米價ガ下ラナケレバ發動スルコトガ許サレナイト云フコトダケハ、最早動カスベカラザル所ノ歸結ニナッテ居ル、ソレデアリマスカラ農林當局ガ説明サレル通りニ、今年ハ生産費ノ調べガ出來テ、ソレガ加味セラレルシテモ、生産費ヨリ以下ニ下ラナケレバ發動スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ事實上ノ結果ニナル、是ハ吾々共ガ今日ノ農村ノ實情ヲ見テ行ク上ニ付テ困ル問題デアアル、ソレデハ農民ハ助カルコトガ出來ナイ、是ガ一ツ、ソレカラ更ニ農林當局ノ説明ニ依リマススト云フト、其生産費ノ調査ト申サレテ居ル所ノモノガ、非常ナ大車輪デ、少シモ豫定ヲ妨ゲラレルコトナクシテ進行シタトシテモ、本年ノ十二月ノ十日デナケレバ集計ガ集メテ來ナイ、是ハモウ繰返シタ々政府當局カラ説明サレテ居ルカラ、サウデアアラウト私ハ信ジマス、サウシマスト云フト、既ニ農林省ガ世ノ中ニ發表シテ居ラレル所ノ統計ニ依リマシテ、又御互ニ承知シテ居ル所ノ事實ニ照シテ見マシテモ、早く米ガ出廻ル地方ニ於テ、又早く米ヲ貨幣ニ換ヘナケレバナラス

實情ニアル所ノ、中農以下ノ農民ニ於テハ、是ガ米ヲ賣出シテ、貨幣ニ換ヘテ生活ノ資ニ供シヤウト云フ、其一番肝腎ナモノハ、農林當局ノ説明セラレル生産費ヲ加味スルト云フ恩恵ヲ受ケ能ハナイト云フコトモ、亦、屢々繰返サレタ問答ニ依ッテ明カナコトデアラウト思フデアリマス、色々申上ゲタイコトモアルガ、余ノ事ハ省略シテモ、以上二點カラ觀察シテ見テ、事實ト數字ノ示ス所ニ依ッテ、現行米穀法ノ中ノ此四條五條、即チ率勢米價ニ關スル規定ヲ存置シテ置クコトハ、農民ヲシテ益々疲弊困憊ニ陥ラシメル因ヲ成スコト明瞭デアリマスカ故ニ、之ヲ此際削除シタイ、是ガ私共ノ存念デアリマス、之ヲ除却シテシマウ、ソコデ小池サンノ御質問ノソレデハ何ヲ標準ニシテヤラントスルカ、是ハ昨日モ他ノ委員諸君カラノ御尋ニ對シテ明瞭ニ申上ゲテ置キマシタカラ、定メシ其通り速記ニ載ッテ居ルト思ヒマスルガ、私共ノ存念ハ生産費ニ主トシテ據リタイ、此生産費ニ據ル爲ニ、時ノ宜シキニ從フガ爲ニ、經濟事情ヲモ斟酌シ、又昨日明言致シタ通り、此時局ニ照シテ今日ノ農村ノ實情ヲ加味斟酌チセラレテ、生産費ヲ基準トシテ適當ニ定メル、是ガ私共ノ念頭ニ描イテ居ル所ノ標準デア

リマス、之ヲ簡單ニ要約シテ申上ゲマスルト云フト平均……一寸委員長、是ハ平均ト云フ言葉ヲ使フノガ正シイノデスカ、標準生産費ト申ス方ガ宜イノデスカ

○東委員長 ドウモ標準ノ方ガ宜ササウデス

○若宮委員 私モソレガ正シカラウト思ヒマス、標準生産費ヲ基準トシテ、農村ヲシテ生活ノ安定ニシテ氣分ヲ安ラカナラシメタイ、是ガ手前共ノ存念デアリマス、ドウゾ其コトヲ御含ミ置キテ願ヒタイト思ヒマス、第二ノ御尋ノ點ハ、私共ノ提案シテ居リマス第一條第二項ニ此實質ヲ挿入致シマシテ、目的ヲ達スレバ宜シイノダカラ、立法整理上ト言ヒマスカ、立法技術上政府ガ提案シテ居ル應急法案中ノ適當ナ所ヘ、此趣旨ヲ編入シタラバ目的ヲ達スルヤウニ思フガドウ思フカト云フ意味ノ御尋デアッタト思ヒマスガ、違ヒマスカ

○小池委員 其通りデアリマス

○若宮委員 其コトニ付テ卒直ニ申上ゲマスガ、手前共本法中改正法律案ヲ提出致シマスニ當リマシテハ、實ハ豫算委員會ニ於テ政府當局ニ對シテ、吾々ハ必要ナリト信ズル諸點ニ付テ質問ヲ致シタノデアリマスルガ、政府カラ一點ハ相當明カナル答辯ヲ

漏サレマシタ、即チ朝鮮、臺灣米ニ力ヲ伸スト云フコトニ付テハ、稍、具體的ノ御答ヲ得マシタガ、他ノ諸點ニ付テハ、明答ヲ得ナカッタ、ソコデ私共ハ豫テ信ジテ居リマスル所ヲ法案ニ編成ヲシテ、之ヲ提出シタノデアリマシテ、本議場ニ於テ私ハ趣旨辯明ヲ致スベク、登壇ヲスル其間際ニ、政府カラアノ應急法案ト云フモノガ出テ來タ、實ヲ申シマス、出會頭ニアレニアツカッタノデアリマス、デスカラ此法案ヲ私共ガ審査致シテ提出スル場合ニ於テハ、政府カラア、云フモノガ出ルベキコトハ豫期シテ居ラナカッタ、是ガ實情デゴザイマス、ソレデアリマスルカラ、今御尋ノ點ハ、之ヲ立案スル時ニ於テハ念頭ニナカッタノデアリマス、恐ラクハ——是ハ私ガ委員會ヲ代表シテ責任ヲ以テ申上ゲルコトノ出來ナイコトハ、無論御承知置デゴザイマセウガ、私一個ノ考ト致シマシテハ、本委員會ニ於テハ茲ニ幾多ノ關係ノ諸案ガ附議セラレテ居ルノデア

ルカラ、同僚各位ノ御考、御審議ノ結果トシテ如何ヤウトモ整理爲サルコトハ、是ハ本委員會ノ使命デアラウト思ヒマス、ソレ以上ハ私御答申上ゲ兼ネマス

○東委員長 一寸御諮リ致シマスガ、理事ノ變更ガアリマシタ、當委員會ノ原吉郎君

ガ御辭任ニナリマシテ武知勇記君ガ補闕トナリマシタ、同時ニ理事ニ指名ヲ致サウト存ジマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○東委員長 ソレデハ左様ニ決シマス、ソレカラ一度午前ニ宣告致シタト思ヒマスガ、本委員會ニハ尙三案、米專賣法案、米專賣特別會計法案、植民地米統制法案、此三案ガ付託サレテ居ルノデアリマスガ、之ヲ併セテ審議ヲ進メタイト思ヒマス、同時ニ若シ提案ノ理由ノ説明ハ本會ニ於テ致シテ居リマスガ、更ニ御質問等ガアリマシタナラバ、此場合ニ御質問アラント願ヒマス

○小池委員 若宮君ノ御説明デ政友會提案ノ御趣旨ヲ了解致シマシタガ、尙ホ政府委員ニ一二御尋シタイト思ヒマスガ、是ハ多クハ施行令ニ關スルコトデアリマスケレドモ、率勢米價ハ十二月十日ニ出來上ル生産費、ソレガ分ラナケレバ發動ノシヨウガナイ、是ハ今日デモサウデアリマセウ、ソレカラ其率勢米價ヲ無論勅令ガ今日ノ儘デアレバ値下リノ二割モ、値上リノ二割モ考慮シナケレバナラヌデセウ、ケレドモ値上リノ方ハソレ程上レバ宜イト思フカモ知レマセヌガ、値下リノ二割ト云フコトニナッテ

來ルト、全然生産費ヲ二圓モ二圓五十錢モ切レルヤウニナル、是ハ非常ニ米ヲ取扱フ仲介商人ノ思惑ヲスル範圍ヲ助ケル譯デアツテ、生産者ニハ利益ガナイヤウニ思ハレル、此點ニ付テハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラシヤルカ、又生産者ニ利益ノナイト云フコトニ御同意ニナレバ之ヲ廢止スルノ御意思ガアルカ、此點モ御尋シテ置キタイ、來ル十一月實收豫想發表ノ時ニ、ソレデモ既ニ時期ガ遅イカモ知レマセヌケレドモ、米穀法ノ發動ハ何時デモ小作人若クハ小農ノ手カラ米ガ離レタ時ニ發動スルヤウデス、

是ハ私共始終遺憾ニ考ヘテ居ル、ソレデスカラ成ベクマダ小作者ノ手ニアル内ニ、小農ノ手ニアル内ニ政府ガ發動スルヤウナ途ガ何處カニナケレバナラヌ、此事ニ付テハドウ云フ御研究ヲ爲サツテ居ラシヤルカ、是コソ私ハ應急ノ對策デアルト思フ、現下ノ法律ガドウアラウトモ、應急對策ノ中ニサウ云フコトヲ入レテ下サルコトガ、一番宜カッタト思ヒマス、其方面ノ御研究ノ點ガアルナラバ御答辯願ヒタイ

○長瀬政府委員 只今ノ施行令ノ上下二割ト云フコトガ思惑ヲ助長スルニ過ギナイト云フノデ、寧ロ之ヲ廢止シテハ如何ト云フ御意見ニ承ツタノデアリマス、實ハ此二割ト

云フコトニ決マリマシタノハ、私自身ハ居リマセヌデシタガ、大體是マデノ米價ノ上下變動ノ幅ヲ見マスと云フト、一割八分ナニガシト云フ風ナ工合ニナッテ居リマスノデ、非常ナル暴騰暴落ヲ抑ヘルト云フナラバ、其幅ヲ乗切ッタ時ニ之ヲ抑ヘルト云フコトガ必要デハアルマイカト云フノデ、斯ウ云フ風ニ決マッタヤウニ伺ッテ居リマス、隨ヒマシテ只今ノ所此二割ト云フモノデハ非常ニ幅ガ廣過ギルノデ之ヲ狹メル、或ハ廢止シタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、實ハ此點ニ付キマシテモ、私共モマダ十分ニ研究ガ至ッテ居リマセヌ、省議ノ決定デナケレバ遺憾ナガラ私自身トシテ、

省ヲ代表シテ意見ヲ發表スル譯ニ行キマセヌノデ、此點ノ御答辯ハ私自身カラ申上ゲ兼ネマス、其點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、只今モウ少シ早く、例ヘバ十一月ト云フ風ナ月ニ買上ト云フコトノ發動ガ出來ナイカト云フ御話デアリマス、是ハ私共ハ出來ルダケ早く豫想ヲ著ケマシテ、サウシテ出廻ル初期ニ於キマシテ、早く何トカ買付スルト云フコトニ努力シテ見タイト存ジテ居リマス、是ハ現ニ昨年モ十月、十一月頃ニ率勢米價ヲ割リマシタ、率勢米價デハアリマセヌ、下値二割即チ基準米價ヲ割リマ

シタ、ソレデ十一月末買上ヲ行ッ次第デア
リマス、私共モ出來ル限り御要望ニ依リマ
シテ出廻ル初期ニ於キマシテ早ク買上ニ發
動スルト云フコトニシタイと思ヒマス

○小池委員 段々米穀部長ガ生産者ノコト
ヲ御考下サツテ居ラシヤルト云フコトハ有
難ウゴザイマス、其米穀法ノ發動ニハソコ
デ率勢米價ガ邪魔ニナツテ來ル、率勢米價ガ
アルトソレニ抑ヘラレテ發動ヲ妨ゲラレ
ル、其率勢米價ヲ動カスノハ十二月十日ガ
來ナケレバ動カセナイ、サウスルト如何ニ
米穀部長ガ多數農民ノ爲ニ成ベク早クト
言ッテモ、ドウモソレニ抑ヘラレテ動ケナイ
コトニナル、何トカ動ク方法ガ法文ノ中ニ
アリマスカ、其根據ヲ一ツ御聞カセ願ヒタ
イ

○長瀬政府委員 基準米價ハ毎年十二月決
定發表スルコトニナツテ居リマス、本年十二
月ニナリマスマデハ前ニ定メマシタ基準米
價、具體的ニ中シマスレバ、本年ノ四月ニ告
示ヲ致シマシタアノ基準米價ヲ十二月ノ改
訂マデハ用ヰテ行クヨリ仕方ガナイノデア
リマス、併シ現ニ昨年モ率勢米價ヲ割ッタノ
デアリマス、私共ノ考トシテハ今度サウ云
フ風ナコトガアツチャ困ルト云フコトデ、ソ
コニ至ラザル前ニ——米穀法ガ出動スルト

云フ時ハ既ニ時ガ遅イノデアリマス、サウ
云フコトノナイ前ニ此處ニ至ラシメザル方
法ガ一ツアル、其至ラシメザル方法ト云フ
ノデ、自家貯藏ト云フコトニ依リマシテ、一
時ニ殺到スルコトニ依ル米價ノ値下リヲ
防グ、率勢米價ヲ割ルト云フコトノナイヤ
ウニ、其前ニ出來秋ニ於ケル米ノ殺到ト云
フコトヲ防グ、隨ヒマシテ成ベク一億圓ニ
手ガ掛ルト云フコトハ農家ノ爲ニ感心シナ
イ、アレテ使ッテ買ハナケレバナラヌト云
フコトハ面白クナイカラ、ソコニ至ラナイ
内ニ救ヒ上ゲテ置キタイト云フ譯デアリマ
ス

○兼田委員 一寸關聯シタコトデゴザイマ
スガ、率勢米價ガ此儘十二月ニ出動スルコ
トヲ假定致シマシテ、其間ノ適當ナ措置ト
シテハ不完全デアッテモ、茲ニ一年間ノ生産
費ガ出テ居リマスカラ之ヲ按排シテヤルコ
トハ出來マセスカ

○長瀬政府委員 成程二十圓十一錢ト云フ
コトガ既ニ出テ居リマスガ、何分此前ニ行
ヒマシタ調査等ハゴザイマスケレドモ、此規
定ニ依ッテ的確ナモノニシタイト云フコト
デ始メマシタガ唯一回シカヤツテ居リマセ
ヌ、較ベルモノガナイノデアリマスカラ、是
ガ正シイカドウカト云フコトハソレテ眺メ

テ見テ十分自信ガ付カナイノデアリマス、
今直チニ之ヲ用ユルト云フコトガ果シテド
ウカト云フコトニ付キマシテハマダ十分の
確ナル御答ヲスルコトノ出來ヌノヲ遺憾ニ
存ジマス

○兼田委員 ソレハ御尤デスケレド、斯ウ
云フ非常時デアリマスカラ完璧ヲ期セナイ
デモ、大體ノ按排ヲシテヤレバ私ハ宜イダ
ラウト思フ、ソレハ率勢米價ガアルト假定シ
テ餘ニ几帳面ニヤルト云フト間ニ合ハナク
ナリマスカラ、矢張吾々トシテハ巧遅ヨリ
モ拙速ノ方ガ宜イダラウト思ヒマス、私ハ
當局ノ方々ガサウ爲スッタ方ガ宜クハナイ
カト思ヒマス、餘リ几帳面ニヤツテモ間ニ分
ヒマセスカラ、此場合拙ク行ッテモ構ヒマ
セヌ、吾々ハサウ云フ考ヲ持ッテ居リマス

○三善委員 關聯シテ居リマスカラ御許ヲ
願ヒタイ——今米穀部長ハ洵ニ明答ヲセラ
レタノデアリマス、私共米穀部長ノ炯眼ニ
ハ敬服致シマシタ、實ハ率勢米價ヲ切ルノ
ハ十二月デ、其時ハ既ニ遅イ、斯ウ考ヘテ居
ルト云フコトデアルガ、此點ハ矢張私共米穀
部長ト意見ヲ同ジウシテ居ル、ソレデア
カラ米穀部長ハ吾々ノ率勢米價ヲ廢シタイ
ト云フ議論ニハ御賛成ニナツテ居ルコト、
存ジマスガ、尙ホ進ンデ御尋致シタイと思

ヒマス、曩ニ農林大臣ハ十二月十日ニ生産
費ヲ決定シテ、ソレカラ率勢米價ヲ決メテ
モ、マダ其時ハ大部分ノ米ガアルカラ、サ
ウ支障ハナイト云フヤウニ言ハレタノデア
リマスガ、米穀部長ハ時既ニ遅シト言ハレ
テ政府ノ見解ニ二様アルヤウデアリマス
ガ、米穀部長ノガ本當カ、農林大臣ノガ本
當カ、是ハ何方ガ本當カ、此點ニ付テ御伺
致シタイ

○長瀬政府委員 私ノ申上ゲルノハ詰リ米
穀法ト云フモノハ一ツノ眞打デアッテ、此役
者ガ出テ來ル時ハ餘リ結構ナ時デハナイ、
斯ウ云フ眞打ノ出テ來ルノ止メル爲ニ、
色々ナ出演者ガ出テ來ナケレバナラヌト思
フ、ソレデモ尙ホ下ルト此眞打ガ出テ來テ
刀ヲ抜カナケレバナラヌカラ、サウ云フコ
トニナラヌヤウニヤリタイト云フコトヲ申
上ゲタノデアリマス、率勢米價ノ十二月ノ
時期云々ト申上ゲタノデハナイノデアリマ
スカラ、ドウカ一ツ御諒承ヲ願ヒマス

○三善委員 私ハ米穀ノ貯藏ト云フコトニ
付テ御聞致シタイと思ヒマスガ、十二月ニ
殺到スル米ニ對シテ之ヲ何トカシテ出ナイ
ヤウニシナケレバ市場ノ値段ヲ壓迫スルカ
ラ、貯藏法ニ依リ貯藏資金ノ運用ニ依ッテ、
此貯藏ヲ獎勵シテ行クト云フコトデアリマ

スガ、ソレハ今迄ノ例ガ示シテ居リマスノ
デ、昭和五年米ニ對シテ政府ノ供給額——
是ノ地方割當額ガ三千萬圓デアル、其中僅
ニ運用ガ出來タノハ八百五十七萬九千圓デ

ト云フコトニナリマスガ故ニ、是ハ率勢米
價ガアル爲ニ矛盾スルト云フ考ヲ持ッテ居
リマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

デハナイカト思フ、ソレカラ庭先相場ト率
勢米價ノ御話ガアリマシタ、成程庭先相場
ト云フモノガ基準米價ニ照合セテ幾分低目

人ガ石一圓乃至二圓等ノ獎勵金ヲ下付サレ
タラ、貨幣ニ代ヘズニ貯藏シテ辛抱スルコ
トガ出來ルモノトハ、私共ハ農村ノ實情カ

其三分ノ一ニモ當ラナイ、又昭和六年ノ政
府供給額ガ三千萬圓デアリ、是ノ地方ノ割
當額ガ千九百萬圓デ、ソレニ貸付額ハ僅ニ

○長瀬政府委員 穀貯藏ハ全クノ愚策デア
ルカドウカ、私共ハ一遍ヤッテ見ナケレバ分
ラヌト存ジマス、ソレハ從來成程穀貯藏ノ

ニナルコトハアラウト思ヒマス、是ハ私共
ノ方デ生産費ヲ取調ベル際ニハ、矢張庭先
相場デ調ベナケレバナラヌコトニナッテ居

テハサウ云フ御確信ガアリマスカ、金ニ代
ヘズニ貯藏ノ獎勵金ダケヲ貰ウテ——如何
デアリマス、種々出來秋ノ米ヲ賣ラズニ、

三百萬圓足ラズデ、六分ノ一ニモ當ラナ
イ、農村ニ於テ此貯藏ニ依ッテ一時ニ出ル
所ノ米ヲ抑ヘヨウトシテモ農村ハ此貯藏ト

利資金ト云フヤウナモノ、獎勵資金ノ出タ
コトハ一回モアリマセヌ、此前ニヤリマシ
タ時ニハ帝國農會アタリカラハ一圓デモ宜

云フ積リデアリマス
○若宮委員 小池君ノ質問繼續中デアリマ
スガ、關聯事項デアリマスカラ極ク簡單ニ

有ッテ居ラレルノカ、私共ハ自分ノ郷里ナド
ノ實情ニ照シテ見ルト、不思議千萬ニ考ヘ
ラレマスガ、如何デセウカ

デアルカラ、新ニ茲ニ資金ヲ投ゼラレ、之
ニ對シテ相當ナ施設ニ依ッテ獎勵致シマシ
テモ農村ハ尙ホ且、貯藏ト云フコトニ付テ

イカラ貰ヒタイ、サウスルト食付イテ來ル
ガ、一文モ獎勵金ガ出ナイト云フコトデハ
困難デアルト云フコトデアリマシタガ、或

當局ニ伺ヒマス、只今御答ノ點ニ付テハ私
ハ自分ノ郷里ナドデハ此前ニ施行サレテ大
失敗デアッタコトヲ能ク承知シテ居リマス

○長瀬政府委員 只今ノ御説ハ洵ニ御尤ト
思ヒマス、實際直金ニ代ヘナケレバナラ
ヌト云フ狀況ニ置カレテ居ル人達ハ、ドウ

ハ餘リ利用シナイ、是ハ數字ニ依ッテ能ク
分ッテ居ル、ソレヲ以テ應急對策トシテ米ノ
一時抑ヘテサレルト云フコトハ、是ハ甚ダ疑

一文モ出ナカッタ、石一圓位デモ宜イカラ戴
キタイト云フ要望ガ帝國農會アタリカラ
アッタヤウデアリマスガ、今回ハ大體二圓位

カラ、是ノ效能ヲ過信サレルコトハ頗ル危
險ナルモノデアラウ、絶無デハアリマスマ
イガ過信爲サルコトハ政府當局トシテモ危

賣ラナケレバナラヌト云フ事情ハ、洵ニ御
尤ト思ヒマス、唯私共ノ方カラ申シマス
ト、サウ云フ人達ニ出來ルダケ資金ヲ融通

額ガ決ッテ居ルカラ、之ニ依ッテ買上ゲテモ
宜イト云フ御意見モアリマシタガ、其當時
ノ價格ハ十七圓九十一錢デ是ハ市場ノ相場

ノ見當ニナルダラウト思ヒマスガ、是デ利
子保管料、低利資金ト云フヤウナモノヲ
償ッテ行キマスレバ、是ハ私ハ相當ノ效果

ハ先程モ申述ベマシタヤウナ中農以下デ出
來秋ノ米ヲ急イデ貨幣ニ代ヘナケレバナラ
ヌト云フ階級ノ人々、而シテ其人々ガ時局

番有效ダト思ヒマスケレドモ、只今御話ノ
ヤウナコトハ事實其通りダラウト思ヒマス
ノデ、サウ云フヤウナ情勢ニ迫ラレテ居ル

方ノ庭先相場ハ二圓低イカラ、一俵ノ米ガ
六圓四十錢ニナラナケレバ買上ガ出來ナイ

私共ト致シマシテモ將來ノコトデアルカ
ラ、無論十分ニ豫測ハ出來ナイノデアリマ
ス、先ヅ一遍此方法デヤッテ見ルノガ至當

同救ノ上ニ於テ最モ速ニ救済ヲ致サナケレ
バナラヌ目的物デアアル、ソレ等ノ階級ノ人

人達ノ米ノ保管ヲサレルト云フコトハ、比
較的少クシテ、ヤハリ幾分カハ貯藏シテ置

六圓四十錢ニナラナケレバ買上ガ出來ナイ

ス、先ヅ一遍此方法デヤッテ見ルノガ至當

比較の少クシテ、ヤハリ幾分カハ貯藏シテ置

比較の少クシテ、ヤハリ幾分カハ貯藏シテ置

イテモ宜イト云フ餘力ノアルヤウナ人達ノ

米ガ貯藏サレト云フコトニナル、遺憾ナ

ガラサウ云フ傾向ガアルダラウト私共ハ思

ヒマス、唯市場ニ出廻ル數量ヲ貯藏シテ、

出廻ラナイヤウニ、幾分デモソレヲ喰止メ

ルト云フニハ、是ハマア何レノ米デモ米ニ

印ハナイガ、ドノ米デモ先ヅ市場ニ出廻ル

數量ヲ少クスレバ宜イト云フ所デ私共ハ滿

足スルヨリ仕方ガナイ、貯藏ヲ獎勵致シマ

シテ、サウ云フヤウナ零細ナ人達ノ米モ出

廻ラナイヤウニ出來ルダケ私ハ努メテ獎勵

ヲシテ行キタイト、斯ウ云フヤウニ申スヨ

リ外致シ方ガナイト思ヒマス

○小池委員 私ハ唯率勢米價ノ値幅ノコト

ヲ改メルコトガ出來ルカ出來ナイカヲ御聞

キシタイ、無論米穀部長ハ御答ガ出來マイ

直ニハドウスウト云フコトハ申サレヌカ

モ知レマセヌケレドモ、サウ云フ關係デ是

ハ出來上ッテ居ルモノデアリマスルノデ、

ヤハリ之ヲ撤廢スルコトニナリマス、順

序トシテハ、サウ云フ機關ニデモソレヲ諮

詢致サナケレバ、之ヲ直ニ大臣限リデ撤廢

爲サルト云フコトハ、或ハイカヌカト私ハ

思ヒマスガ、無論其點ハ御傳ヘシテ置キマ

ス

○小池委員 私ノ質問ハ終リマス

○深水委員 私ハ政友會提案ノ米專賣法ノ

コトヲ少シ御尋シテ見タイ、現在ノヤウナ

有様デハドウシテモ、結論ハ統制ト云フコ

トニナル、統制ノ第一歩ハドウシテモ米專

賣ト云フコトガ第一問題トシテ出テ來ルノ

ハ當然デアル、私共ハ必ズシモ米專賣ト云

テナイヤウデアリマスガ、何ヲ標準ニシテ

ソレヲ御定メニナルノデアリマスガ

○胎中委員 提案者ノ一人トシテ私ヨリ御

答致シマス、是ハ別ニ標準ハアリマセヌ、

此處ニアリマスル通り、市町村ヲ一團トシ

テ、別ニ米納入者組合ト云フモノヲ作ラシ

メテ、政府ガ買フノデアリマスガ、其以前

ニ於テ自家用米ト云フモノヲ、米ノ所有者、

ソレガ地主デアラウト、自作農デアラウ

ト、小作人デアラウト、ソレ等ノ人間ガ作ッ

テ、自分デ有ッテ居ル米デ、是ダケハ一年ニ

ドウシテモ食フ米ダト、斯ウ云フ見込デ、

其量ダケハ彼等ニ自由ニサセテ、餘ル米、

即チ賣ッテモ宜イ米ヲ政府ガ買フト云フノ

デアリマスガ、標準ハ必要ナシト思ヒマ

ス

タ場合ニ於テハソレハ處分ノ方法ガナイ、

（翌年ニ持越セバ宜イト呼フ者アリ）交ゼ

返スナ、アナタ方ノ御出シニナッタモノヲ

尊重スレバコソ、私共深ク御尋スルノデ、

交ゼ返スナラモウ御尋シマセヌ、何故カト

申シマス、此方法ハ貧農自作農ト云フモ

ノニ對シテ大關係ヲ有ツモノデアリマスガ

ラシテ、其剩餘米ノ處分ト云フコトガ非常

ニ必要ナコトニナル、足ラヌ時ニハ宜イケ

レドモ、餘ッタ時ニハソレヲ持ッテ居リマシ

テ、遺像ガナイ、或ハ子供ガ生レタ、金ヲ作

ラナケレバナラヌノニ、米ハアルガ、賣ル

コトガ出來ナイ、賣レバ犯罪トシテ處分サ

レルト云フコトニナッテハ、實ニ遺憾ナコト

デス、私ノ考ヘル所デハ、此法律ハ幾ラカ缺

點ガナイカト云フコトヲ疑ヒマシタカラ、

之ヲ御尋スルノデス、例ヘバ一家デ一箇年

二十俵ノ米ヲ消費スル家族デ、例ヘバ家族

五人中或ハ滿洲ニ行ク、臺灣ニ行ク、或ハ

死ンダト云フ時ニハ餘ルコトガアル、餘ッ

タ時ニ其剩餘米ヲ處分スルト云フ方法ガ講

ゼラレテ居ラスト、即チ本來ノ貧農ニ對ス

ル折角ノ法律ノ精神ガ徹底シナイト云フ憾

ガアルニ依ッテ、私ハ斯ウ云フ質問ヲスルノ

デアリマス

○胎中委員 此點ハ御心配ヲ相掛ケテ相濟

ス

昭和七年八月三十日

第六類第四號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案（政府提出）委員會議錄 第四回

二九

米賣捌人ガ居リマスカラヤリマスガ、餘ッ

ミマセヌガ、實ハ御心配ハ要ラスノデス、御承知ノ通り米專賣ノ下ニ政府ガ米ヲ買ヒマスル期間ハ必ズシモ限ラレテ居リマセヌ、一年ヲ通シテハ買フベキモノハ買ヒ、賣ルベキモノハ賣ルノデアル、故ニ假ニ今申サレマスル通り、甲ノ家デ今年十俵ノ米ガ自家用米トシテ要ル、ダカラ是ダケハ取ツテ置カウ、サウシテ殘餘ノ米ハ賣ラウト言ツテ賣ル、サウシテ段々食ツテ行ク中ニ十俵ノ米ガ二俵餘ッタ、斯ウ云フ場合ニハヤハリ是ハ決定サレタ値段デ何時デモ賣レルノデアリマス、若シ賣ルノガ面倒イト思フ餘裕ノアル人ダッタラ、ソレハ來年ノ自分ノ飯米ニ取ツテ置イテモ差支ナイノデアリマス

○深水委員 分リマシタ、是ハ詰リ現在デアリマス、藥代ガナイカラ米ヲ賣ツテ藥ノ代ニシヨウ、所ガ此法律ニアリマス買上ト云フモノハ總テ米券デアリマス、故ニ普通ノ現在ニ於ケル米ノ賣捌ノヤウナ便利ガナイ、非常ニ支障ヲ生ジテ來ルト云フ虞ガアル、隨テ米券ニシタモノヲ急ニ金ニ換ヘネバナラスト云フヤウナコトニナツテ來ルト、詰リソレヲ高利貸カ、若クハ或一種ノ金主ニ持ツテ行ツテ割引シテ貰フトカ、或ハ何トカカントカ云フ不便ガ生ジハセヌカト思ヒマスガ、其點ハ如何デスカ

○胎中委員 ソレハ後ニ記載致シテアリマスガ、此米券ナルモノハ納稅ニモ使ヘマス、他ニモ使ヘルノデアリマス、サウシテ政府ガソレノ手ヲ經テ、此金ハ何處ノ銀行ヘ行ツテモ金トシテ通ズル證券デアリマス、其御心配モナカラウト思ヒマス

○深水委員 マアサウ仰シヤレバサウカモ知レマセヌガ、實際ハサウ行カヌト思ヒマス、ソレハ例ヘバ米ガ三俵殘ッタ、或ハ五俵殘ッタト云フヤウナ程度ダト、サウ云フコトニ思ハレマスガ、貧農ニシテ僅カニ二升トカ、或ハ五升シカナク、サウシテ今ドウシテモ藥價ガ要ルト云フヤウナ時ニハ困ルト思ヒマスガ故ニ、或ハ私ハ米券ト云フモノヲ非常ニ小分ケテシテ、ドウ云フ風ナ米券カ存ジマセヌクレドモ、丁度現在ノ通用紙幣ト同ジヤウニ——通用銀貨ト同ジヤウニ小刻ミニシタ米券デモ御出シニナルノカトモ考ヘマスガ、ソコノ點ヲ一ツ……

○胎中委員 十圓迄デアリマシテ、十圓以下米券トシテ發行シマス

○深水委員 モウ一ツ分リマセヌコトガアリマス、ソレハ運搬費ノコトデアリマス、ドウ云フ風ニナリマスガ、此處ガ私分リマセヌガ、納入スルニ付テ、米納入者ノ所マデハ農夫ガ持ツテ行ク、即チ農夫ガ持ツテ行

テ、ソコヘ納入シテシマフ、ソレヲ今度ハ需要者ニ賣捌ク、隨テソレヲ保存スル爲ニ倉庫モ要リマセウシ、又更ニ今度ハ白米モ拵ヘナクチャナラヌ、斯ウナツテ來ル、普通ノ品物ナラ宜シイガ、米デスカラ非常ニ重イ、隨テ運搬費ヲ要スル、彼方ヘ持ツテ行キ、此方ヘ持ツテ行キ或ハ保存シナクレバナラス、斯ウ云フモノニ付テ費用ガ掛ル、其費用ト云フモノガ納メマシタ時ノ代價ヨリモ高イ米ヲ食ハナクレバナラスト云フヤウナ結論ヲ生ジハセヌカ、其點ヲ氣遣ヒマスカラ一寸御伺シマス、是ハ相對的ニ詳シク言ヘバ何デアリマスガ、何レ他ノ委員カラモソレノ御質問ガアラウト思ヒマスカラ他ノ方面ニ互ツテハ申上ゲマセヌガ、米ノ運搬費、ソレカラ撙減リ、其他之ヲ扱フ費用等ガ白米ニ加算サレテ賣ルノデアリマスカラ、其運賃ト云フモノハチャント今度賣ル場合ニ加算サレテ居ル中ニ入ッテ居リマス

○深水委員 能ク分リマシタ、ソレデ宜シウゴザイマス

○原委員 先程大臣ニ伺ヒマシタガ、ハッキリ致シマセヌノデ重ネテ伺ヒタイノデスガ、先程米穀部長ノ答辯ノ中ニモ此米穀法ノ發動ハ眞打デアルカラ、成タケ此發動ヲ

希望シナイト云フコトヲ申サレテ居リマシタガ、此點ニ付キマシテハ私等モ全く同感デアリマシテ、此米穀法ノ發動ヲ見ルヤウナコトガナイコトヲ希望致シマスルガ、併シ餘リニ米穀法ノ發動ヲスル其道行ガ長イノデ、諸君ガ心配ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、此米穀法ノ發動ヲスル條件ガ、現在ノ條件ヨリハヨリ能ク發動ヲスル機會ガ近イヤウニスルト云フコトニ付テ、色々研究ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、其點ニ付キマシテ政友會ノ方ヨリハ米穀法ノ改正案ガ出テ居リマスガ、私ガ伺ハントスルノハ、此米穀法ノ改正ヲ致サナクトモ、勅令ノ改正ノミニ依ツテ米穀法ヲ今ヨリハモウ少シ發動ヲ爲シ得ルヤウニ、此基準米價ヲ上ゲルト云フコトガ出來ルノデアアルカドウカト云フコトヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○長瀬政府委員 基準米價ヲ上ゲルト云フコトハ、具體的ニ申シマスレバ率勢米價ノ下値二割ノ幅ヲ縮メテ一割五分トカ、一割トカ云フコトニスル、此意味デヤナイカト思ヒマスガ……

○原委員 サウデヤナイ、具體的ニ申セバ、施行令ノ附則ニ依ツテ——米穀法ノ附則ニ依ツテ現在ハ最低基準米價ハ率勢米價下値二割ト云フモノニナツテ居リマスルガ、併

シソレテ撤廢致シマシテ、米穀法ノ元ノ規定ニ立戻ツテ、生産費ヲ加味シテヤルト云フコトニスルナラバ、今日以上ニ其最低價格ヲ上ゲルコトガ出來ルヤウナ結果ニナルン

○東委員長 一寸質問致シタイノデスガ、米穀特別會計資金一億萬圓、應急施設ノ金ガ三千萬圓、是デ一億三千萬圓ト云フ金ヲ新ニ増額スル譯デアリマスルガ、先日ノ米穀部長ノ説明デハ會計ノ資金餘力ト云フモノハ五千三百萬圓アル、五千三百萬圓餘力ガアル、只今豫想トシテ買入レノ資力ハ六百萬石位ノ力ガアル、ソレデ此年度ニ於テ假ニ三百萬石買フカ、二百萬石買フカ、或ハ五百萬石ニナルカ、又朝鮮ニ於テ百二十萬石

○原委員 サウデナイ、スルカ、セスカト云フコトハ別問題デアリマシテ、爲シ得ルカドウカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデス、サウ致シマスルト、結局生産費ヲ加味シテヤラナケレバナラヌコトニナリマスガ、其生産費ハ先日來ノ質問應答ニ依リマスレバ、本年ノ十二月ノ十日デナクテハ分ラナイト云フコトデアリマスガ、現在分ッテ居ル昭和六年度ノ生産費ニ依ッテ、此十二月十日以前ニ於テソレテ決定スルト云フヤウナ方法ニハ出來ナイデセウカ

○長瀨政府委員 是ハ先程モ一寸申述ベマシタガ、一年ノ經驗デゴザイマシテ、是ガ果シテ、的確ナルモノナリヤ否ヤト云フコトハ、私共トシテモ自信ガ持チ兼ネルノデアリマス、只今之ヲ持チ得ルト云フコトモ申上ゲ惡イト思ヒマス

○東委員長 一寸質問致シタイノデスガ、米穀特別會計資金一億萬圓、應急施設ノ金ガ三千萬圓、是デ一億三千萬圓ト云フ金ヲ新ニ増額スル譯デアリマスルガ、先日ノ米穀部長ノ説明デハ會計ノ資金餘力ト云フモノハ五千三百萬圓アル、五千三百萬圓餘力ガアル、只今豫想トシテ買入レノ資力ハ六百萬石位ノ力ガアル、ソレデ此年度ニ於テ假ニ三百萬石買フカ、二百萬石買フカ、或ハ五百萬石ニナルカ、又朝鮮ニ於テ百二十萬石

○原委員 サウデナイ、スルカ、セスカト云フコトハ別問題デアリマシテ、爲シ得ルカドウカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデス、サウ致シマスルト、結局生産費ヲ加味シテヤラナケレバナラヌコトニナリマスガ、其生産費ハ先日來ノ質問應答ニ依リマスレバ、本年ノ十二月ノ十日デナクテハ分ラナイト云フコトデアリマスガ、現在分ッテ居ル昭和六年度ノ生産費ニ依ッテ、此十二月十日以前ニ於テソレテ決定スルト云フヤウナ方法ニハ出來ナイデセウカ

○長瀨政府委員 是ハ先程モ一寸申述ベマシタガ、一年ノ經驗デゴザイマシテ、是ガ果シテ、的確ナルモノナリヤ否ヤト云フコトハ、私共トシテモ自信ガ持チ兼ネルノデアリマス、只今之ヲ持チ得ルト云フコトモ申上ゲ惡イト思ヒマス

○東委員長 是デケ増シテ置ケバ先ヅ米穀法ノ運用ハコ、一兩年ハ是デヤレル、斯ウ云フヤウナ現在見込ト云フモノハ立ッテ居リマス

○長瀨政府委員 左様デゴザイマス

○原委員 米穀法ガ實施サレテ以來今日マデ、米穀法ニ基イテ買上或ハ買換ヲ致シマシテドレゲケノ國費ヲ缺損致シテ居ルカ、其點ヲ伺ッテ見タイ

○長瀨政府委員 只今マデノ所デ、是ハハ月一日ニ一應概算ヲヤッテ見マシタ譯デゴザイマスガ、損失資金總額ガ一億七千二百萬圓ト云フコトニナッテ居リマス、ズット從來ノ積算シテサウナッテ居リマス

○原委員 サウ致シマス、三億五千萬圓

ニ對シテ一億七千萬幾ラトナリマス、現在殘ッテ居ル餘裕ガ六千萬幾ラ、ソレカラ米デ四百萬石デスカ、ソレデケガ殘ッテ居ル譯デスネ

○長瀨政府委員 米、倉庫、色々ナモノガゴザイマスルガ、只今借入限度ニ對スル餘力ト云フモノガ六千五百萬圓バカリゴザイマス、ソレデハ色々ノ只今申シマシタ米デアリマス、色々ノモノハ既ニナク、窮極餘力ガ五千九百萬圓バカリニナル譯デアリマスガ、是デケノ米ヲ持ッテ參リマスコトデアリマスカラ、年度末マデハ何モシナイデ、買換モ買上モシナイデ居ッテモ、餘力ノ限度ハソコヘ這入ッテ參リマシテ、ソレガ窮極五千三百萬圓位ニナルダラウ、斯ウ云フコトデアリマス

○小川委員 今、少シ問題ニナッテ居ルノデ伺ヒマスガ、此缺損ノ一億七千二百萬圓ト云フノモ項目ガ出來テ居リマスガ、是ハ何カ表ガ出來テ居ルト思フノデアリマスガ、表カ何カデ御示シ下ッテモ宜シウゴザイマス、ソレカラ近頃今日ノ計算デ行クト毎月ドレ位損失ガ殖エテ行キツ、アルカ、ソレカラ米穀證券ノ代リニナッテ居ルモノガドレ位ニナッテ居ルカ、表ガ出來マシタラ御示シ願ヒタイト思フノデアリマス

○長瀬政府委員 只今ノ所デ損失金ノ内容

ト申シマス、事務費ガ二百三十五萬圓
バカリニナッテ居リマス、ソレカラ事業費、
是ハ主トシテ保管料等デアリマスガ、是ガ
二千八百萬圓バカリニナッテ居リマス、ソレ

カラ新營費——營繕費デアリマスガ、百十
五萬圓バカリ、ソレカラ借入金ノ利子デア
リマス、是ガ大分大キイノデ五千二百萬圓
餘ニナッテ居リマス、ソレカラ米穀證券ノ割

引料、即チ借替證券ノ一錢一厘ノ割引料デ
アリマスガ、四百萬圓バカリニナッテ居リ
マス、ソレデ此合計ガ八千七百八十七萬圓

バカリニナリマス、ソレ以外ニ震災デ燒ケ
マシタモノデ損失金ガゴザイマスガ、是ガ
五百八十三萬圓、ソレカラ賣タリ買タリ

致シマスノデ色々損ヲ受ケマシタ、評價ガ
下ッテ參リマスノデ、評價損等モゴザイマ
スガ、サウ云フ風ナ賣却及評價損ガ七千八

百萬圓、是等ヲ合計致シマス、先程申シ
マシタ大體一億七千二百萬圓、斯ウ云フコ
トニ相成ル譯デアリマス

ソレカラ八月一日現在ノ米穀證券ノ發行

ソレカラ月々ドレ位損ガ行クカト云フコ

トデアリマスガ、是ハ一寸只今計算ガ取レ
兼ネテ居リマス、或ハ又御註文ニ依リマシ
テ後程計算シテ出シマシテモ宜シウゴザイ

マス
○東委員長 皆サンニ一寸御諮リ致シマス
ガ、大體質問ハ此程度ニ於テ終了シテ差支

ナイト思ヒマスガ……
○小川委員 モウ少シ質問致シマス
○東委員長 小川君

○小川委員 今日ノ初メノ質問應答ノ中ニ
一寸出マシタコトニ關連シテ伺ヒタイノデ
アリマスガ、庭先相場ト標準生産費ト云フ

コトニ付キマシテ、米穀部長カラモ一寸御
答ガアツタヤウデ、ハッキリ致シマセヌガ、此
關係ハドウ云フ風ニナリマスガ、兎ニ角生

産費ト庭先相場ニハ相當距タリガアル、ソ
レデ私ガソレニ關聯シテ政友會ノ方ノ改正
案ニ付テ伺ヒタイノハ、政友會ノ場合ハ基

準相場ト云フモノハ生産費ダケデハイカ

良イ案ガアレバ一ツ考ヘテ呉レ、斯ウ云フ

ノデアアルガ、生産費ヲ捉ヘテ行クト云フノ
デアレバ、生産費ダケデハ足りナイ、モウ
一ツ或ルモノヲ加ヘナケレバナラヌ、斯ウ

云フ論ニナルノデヤアリマセヌカ、其邊ハ
政友會ノ提案者ニモ伺ヒタイガ、技術的ニ
ナリマスカラ、實ハ米穀部長ニ伺ッテ置ク

譯デアリマス
○長瀬政府委員 立法技術ト致シマシテ
ハ、現在ノ米穀法並ニ附屬法令中ニサウ云

フ風ニ現ハスベキ場所ヲ、私ハ發見スルニ
困難デアラウト思フ、ソレデアリマスカラ、
ヤハリサウ云フ點ハ先程申シマシタヤウ

ニ、生産費並ニ率勢米價ガ、下値二割ノ間
ニ於テ、米穀委員會ガ生キタ判斷ナスルト
云フ場合ニ、之ヲ委セルヨリ仕方ガナイ、

斯ウ云フ風ニ先程御答申上ゲマシタ
○小川委員 ソレデアアルカラ政友會ノ御考
デモ、生産費以上ニ或ルモノヲ加ヘルト云

フコトガ出來ヌ、大體標準生産費ト云フヤ

ルト云フ議論ニナッテ居ルヤウデアリマス

ガ、生産費ニ或物ヲ加ヘルト云フコトニナ
ラナケレバ、政友會ノ議論ハ徹底セヌデヤ
ナイカト思フ、其點政友會デハドウ云フ風

ニ考ヘテ居ラレルノデスカ
○東委員長 大體昨日若宮君ガ説明シタ通
リト思ヒマス、是ハ私ノ一個ノ意見デア

ガ、標準生産費ト云フモノヲ以テ米價ノ標
準價格ト決メル、如何ナル場合デモ決メル、
若宮君ハ生産費以外ニ家計費デアルトカ、

或ハ米價指數ト云フモノヲ入レル、所謂率
勢米價、物價指數ニ關スル趨値ヲ入レル、斯
ウ云フヤウナ説明ヲシタカラ、アナタノ方

ニ非常ニ誤解ヲ招イタヤウデアリマスガ、
私一個トシテハ標準生産費デ行クノデアリ
マス

○小川委員 標準生産費ト云フト、現行法
ニ書イテアル生産費ト結局同ジデアルト思
ヒマスガ……

○東委員長 農林大臣ノ意見ハ率勢米價ニ

持ッテ行ッテ、生産費ヲ加味スルト云フノデ

アリマシテ、吾々ノハ生産費ヲ基礎ニス

ル、斯ウ云フノデアリマス

○小川委員 生産費ト、率勢米價ノ兩方ヲ

一ツ見テ、睨合セテ適當ナ所ニ定メル、ソレ

ハ現行法デアリマス、所ガ生産費ト云フノ

デナケレバナラヌ、先ヅ生産費ヲ目標ニス

ガソコニアルノデスカラ、假リニ農林大臣ノ言ハレタヤウニ本年ノ實際ノ適用ハ生産費ガ分タナラバ、生産費ノ近邊ニ於テ之ヲ決メルト云フコトニナルト、政友會ノ御希望ニナッテ居ル所ニ依ルト、運用上カラ言ッテ矢張本年ノ秋ノ米ニ對シテハ標準生産費ノ所デ決メルト云フコトニナルト同ジコトニナルノデハアリマセヌカ

○東委員長 ソレハ三善君カラ御話ガアリマシタガ、百歩ヲ譲ッテ現在ノ生産費ヲ加味スルモノトシテモ、率勢米價ニ依ッテハ、現行ノ生産費、今日マデ發表シテ居ルモノヲ見テモ、尙ホ二圓カラ二圓五十錢以下ニナルノデハナイカト云フコトヲ言フノデアリマス

○小川委員 サウスルト矢張三善君ノ總理ニ迫マラレタコトハ政友會ノ案ニモ缺點ガアルト云フコトニナルノデハアリマセヌカ

○三善委員 私カラ一寸申上ゲテ見タイト思ヒマス、私ガ前ニ此數字ヲ以テ御説明致シタノデアリマスガ、民政黨ノ農政會デ發表シテ居ル所ノ數字ヲ拜借シテ、サウシテ民政黨ノ農政會ノ如何ニモ淺幕デアルト云フコトヲ一面ニ申上ゲタノデアリマス、ソレハ率勢米價ノ下値ニ割ヲ米價ニ致シマ

ス、サウシテ生産費ヲ二割ト致シマスト二十圓ト二十二圓ノ間デ勝手ニ決メラレル、ト云フノハ米穀調査會トカ、何トカ、アッテソレデ決メル、併ナガラ百歩譲ッテ農民ノ利益ノ爲ニ最低價格二十二圓、所謂生産費ト同様ニ決メラレテモ、其米穀法ノ發動ヲ促ス時期ハ所謂市場ノ價格ガ二十圓以下ニナッタ場合デナケレバ出來ナイ、市場相場ト庭先相場ガ二圓モ差ガアル、庭先相場ガ二十圓ニナッタ時デナケレバ買入レルコトガ出來ナイ、下値ヲ割ッテモ買入ガ出來ナイ、是ガ私ノ立論ノ根據デアッテ、是ガ率勢米價ト云フ第四條ト第五條ノ規定ガアッテ窮屈ニナルカラ、之ヲ廢サナケレバナナヌト云フノガ立論ノ根據デアリマス

○小川委員 ソレデ私ハ庭先相場ト標準相場ト何ッタ譯デアリマス、若シ庭先相場ト標準相場ニ距離ガアル以上ハ、ソレハ幾ラアルカ知リマセヌガ、假ニ二圓ナラ二圓ト云フモノガアルトスルナラバ、政友會ノ方ガ言フ標準生産費、假リニ二十二圓ト致シマス、二十二圓デ買フト云フ目標ヲ致シテ居ッテモ庭先相場ニハ二十圓ト云フ所デドウシテモ開キガアルカラ、助カラヌト云フコトニナルノハ當然デハアリマセヌカ、ソレデアルカラ標準生産費ト云フモノト庭先

相場ノ開キガ技術的ニドウ言ヒ現ハサレテ、ソレニ何トカ加ヘナケレバドウシテモ政友會ノ此時局ヲ匡救スルト云フ御心配ニナッテ居ルコトニハッキリ當嵌ラヌデハナイカト思ヒマス

○三善委員 ソレハ御分リニナッテ居ナイト思ヒマスガ、率勢米價ノ四條、五條ニハ買上ノ時期ガ決ッテ居ル、買上ノ時期ハ市場ノ價格ガ、最低價格ヲ潛ッタ場合デアル、斯ウ云フコトニ規定シテ居ル、ソレナラバ私ハ時期ガ決ッタ場合ハ、ソレヨリ二圓安イカラ生産費ヲ割ッテモ宜イデハナイカ、私共ノ言フノハ生産費ヲ割ル以前ニ買上ゲテ差支ナイト云フノデス

○東委員長 ソレデハ質問ハ此程度ニ於テ終了致シマシタコトヲ宣告致シマス、連日非常ナ炎暑ニ拘ラズ、諸君ハ熱心ナル質疑應答ヲ重ネラレテ非常ニ有難ク存ジマス、是ヲ以テ質問終了ヲ宣告致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後四時十一分散會

昭和七年八月三十日印刷

昭和七年八月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所